

60169

教科書文庫

6.

410.

34-1950

01304

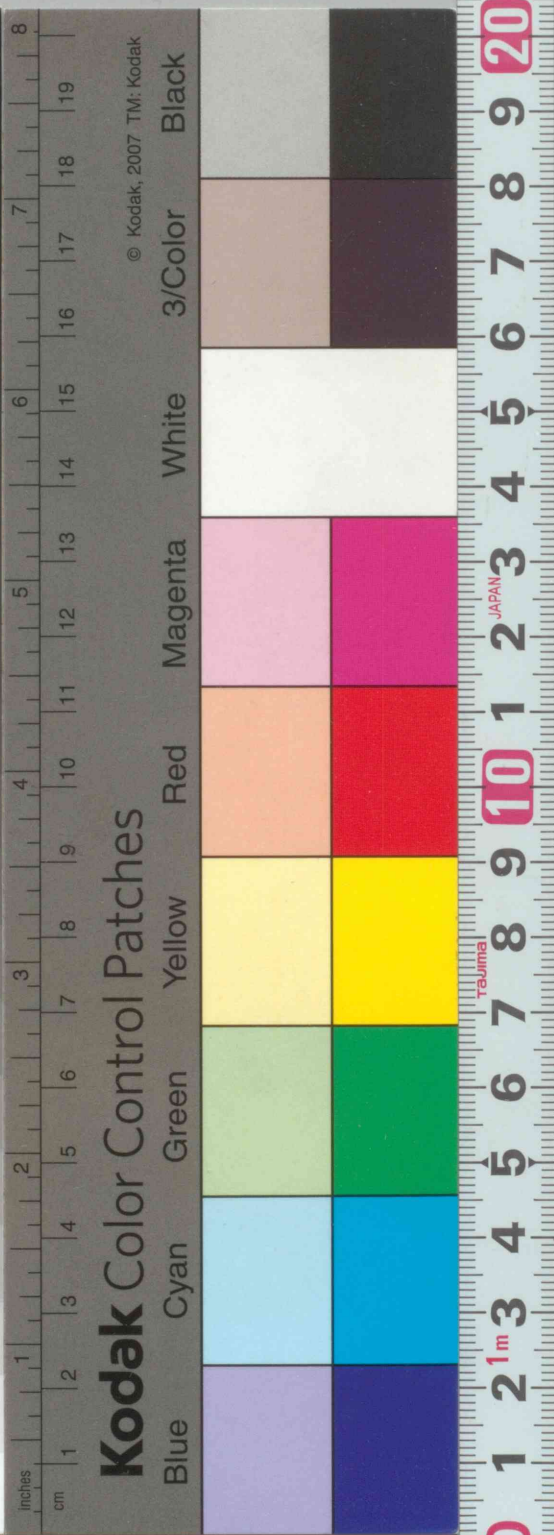
49820

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

庫
50
320

広島大学図書

0130449820

文 部 省 検 定 済 教 科 書
財 団 法 人 日 本 新 教 育 研 究 会 編 修

1	1
学 図	小 算 4 0 7

教育學部
資料室

四年生の算数

上



学校図書株式会社発行



中央図書館

Copyright 1950, by
The Nihon Shinkyōiku Kenkyūkai

All rights reserved

The text of this publication or any part thereof
may not be reproduced in any manner whatsoever
without permission in writing from the authors.

この教科書を用いられる先生方へ

1. この教科書の編修方針については、別冊「教師と父母のための指導書」を参照されたい。したがって、ここでは、直接指導上の参考事項のみを掲げることとする。
2. 教材配当は、大体、第一学期上巻「1. おさらい」から、「3. 分数のかんたんなわりさん」までの3課、第二学期上巻「4. 1万までの数のよせさん、ひきさん」から下巻「8. 図形とグラフ」までの5課、第三学期下巻「9. わりさん」と「10. ぜんたいのたしかめ」の2課とした。
3. 文字・文章は、つとめて平易にし、絵や図を豊富にしたので、指導にあたっては、先ず児童に読ませて、学習の目標を、しっかりつかませるように願いたい。
4. しかし、紙面の制限から、児童にとって、記述の不十分な所もあるから、児童の積極的な質問が生ずるように導かれたい。
5. 観察・調査・測定・実験・製作などは、必ず実践するように導いていただきたい。それを怠っては、数・量・形についての基礎概念が築かれず、また数学的な生活の指導にもなりえないことになる。
6. 各単元のはじめに、「めあて」の項を設け、児童の生活経験を通じて、この単元で学習する主な目標を示した。したがって児童にこの単元で学習すべき目標を明確に把握させた後、実際指導に当られるよう希望する。
7. 各単元の終りに、「まとめ」の項を設けた。ここでは、「その単元で学習した事項を、整理統括させて、学習内容の理解を的確にするとともに、学習方法を反省させて、よりよい学習態度の建設に努めていただきたい。
8. ☆印をつけた問題は、余力ある児童のためのものである。もちろん、十分ではないから、実際指導においては、適当に補充していただきたい。
9. テストは、できるだけ多く掲げたつもりである。テストの答を巻末につけておいたから、児童の学習反省・自己診断の資料として、活用するように導かれたい。
10. 「これまでのれんしゅう」の単元を設けて、既習材料の反覆練習ができるようにした。しかし、この材料は数が少ないから、補充していただきたい。
11. 巻末に内容の索引をつけた。十分御活用願いたい。

寄...贈

教科書文庫

6

410

34-1950

0130449820

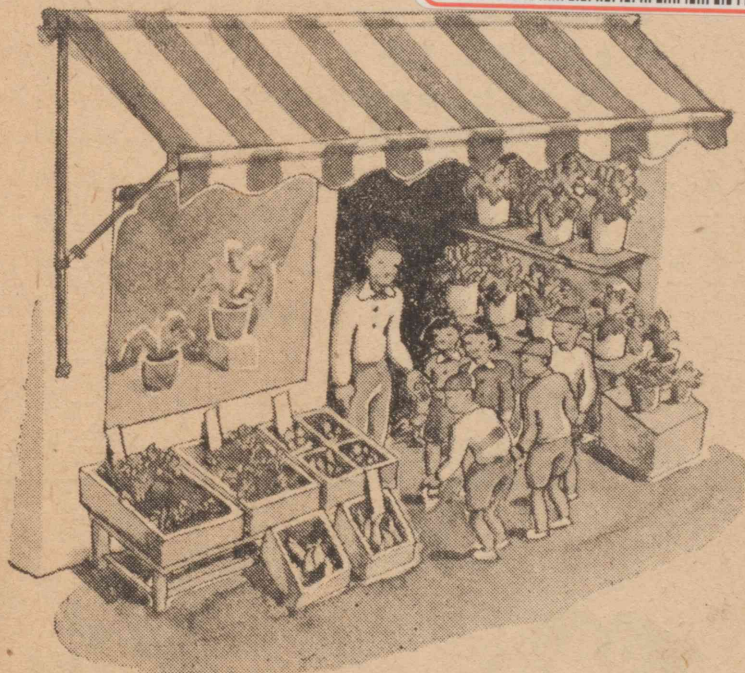
昭和25年 月 日 文部省検定済小学校算数教科用

四年生の算数

広島大学図書

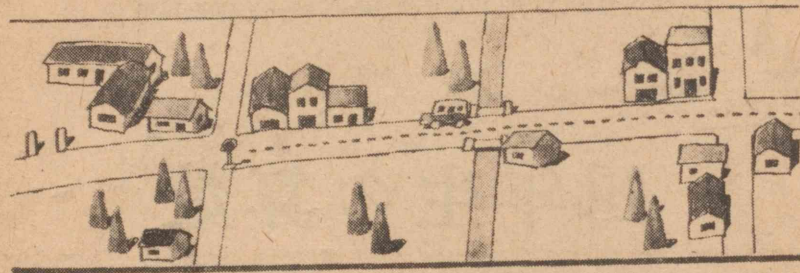
上

0130449820



学校図書株式

廣島大學
教育學部圖書



目次

1 おさらい

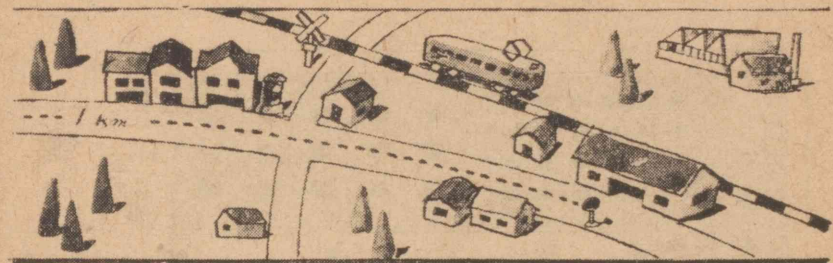
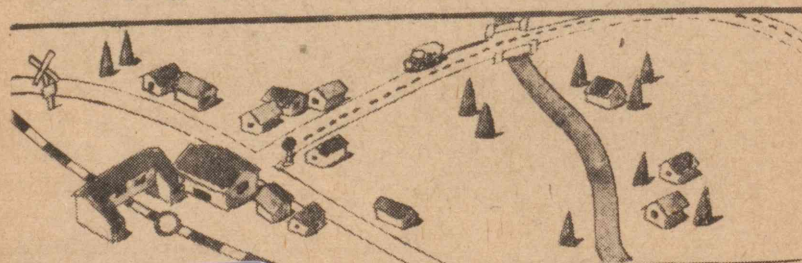
1 組のかだん	1-10
2 おきゃくさん	11-19
これまでのれんしゅう	20-23

2 かんたんなかけざん

3 えんそくのけいかく	24-33
4 えんそくのひ用	34-50
5 売りあげちょう	51-62
これまでのれんしゅう	63-66

3 分数とかんたんなわりざん

6 えんぴつのわけかた	67-82
7 たなばたのかざり	83-91
これまでのれんしゅう	92-94



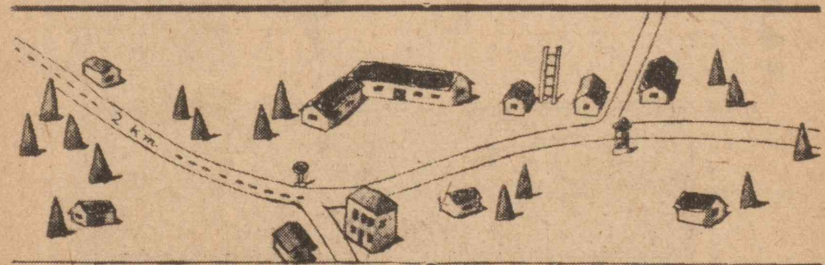
4 1万までの数のよせざんとひきざん

8 村の人口	95-105
9 店屋ごっこ	106-116
これまでのれんしゅう	117-119

5 はかりかた

10 せいりばこ	120-131
11 道のり	132-142
これまでのれんしゅう	143-145

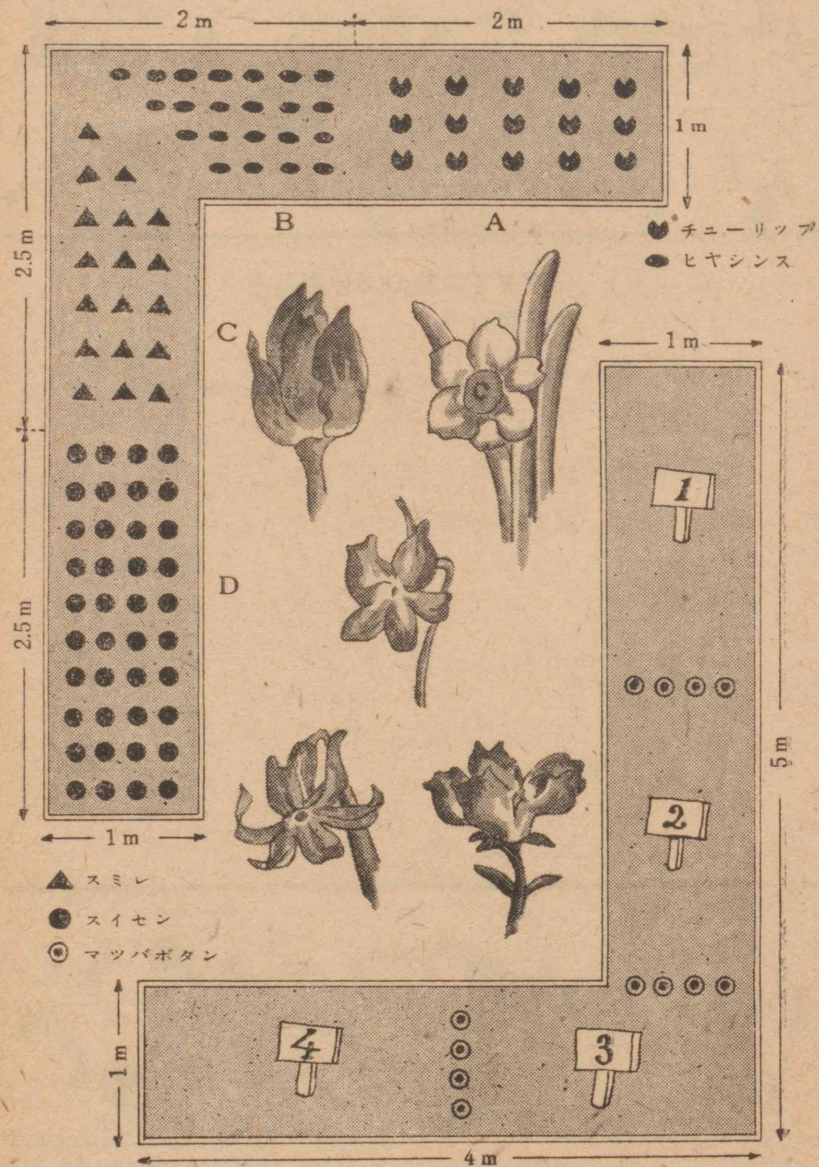
テストの答	146-147
さくいん	148
かけざん九九の表	



広島大学図書

0130449820





1. 組のかだん

この单元では、かだんの花のかぶの数をかぞえたり、これからうるけいかくをしたり、きゅうこんのねだんをしらべたりして、かけざんやよせざん・ひきざんのおさらいをしましょう。

花のかぶの数

きょ年の秋、みんなであつたかだんの花が、きれいにさきました。

いろいろな花のかぶの数をかぞえましょう。

- (1) ④のチューリップは、いくかぶですか。
- (2) ③のヒヤシンスは、いくかぶですか。
- (3) ①②も、かぞえましょう。
- (4) 二つのかだんのまわりは、それぞれ何mですか。

きゅうこん

まさおくんたちは、まだうえてない方のかだんに、何をうえようかとそうだんしました。

いいん会で、春うえのきゅうこんをうえることにきまり、組の人は、四つのはんにわかれましました。

(1) かだんを、四つの同じ広さにわけるには、どうわけたらよいでしょう。

(2) はんごとの畑のさかいには、マツバボタンを4本ずつうえます。マツバボタンは、何本いらいますか。

はんから、いいんがふたりずつえらばれて、花屋へいきましました。

花屋のおじさんは、いろいろのきゅうこ



んを見せて、そのうえかたや手入れのしかたなどを、話してくれました。

グラジオラスは、30cmぐらいはなせばよいが、カンナは60cmぐらい、ダリヤは70cmぐらいはなしてうえる方がよいそうです。

(3) つぎのかけざんをなさい。

$$7 \times 2 \quad 6 \times 3 \quad 4 \times 4 \quad 8 \times 9 \quad 9 \times 5$$

$$30 \times 2 \quad 50 \times 6 \quad 70 \times 8 \quad 20 \times 5 \quad 60 \times 9$$

(4) つぎのよせざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 60 \\ \hline 70 \end{array} \quad \begin{array}{r} 50 \\ \hline 90 \end{array} \quad \begin{array}{r} 80 \\ \hline 13 \end{array} \quad \begin{array}{r} 43 \\ \hline 37 \end{array} \quad \begin{array}{r} 41 \\ \hline 92 \end{array} \quad \begin{array}{r} 25 \\ \hline 76 \end{array} \quad \begin{array}{r} 64 \\ \hline 89 \end{array}$$

(5) つぎのひきざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 10 \\ \hline 7 \end{array} \quad \begin{array}{r} 18 \\ \hline 8 \end{array} \quad \begin{array}{r} 14 \\ \hline 3 \end{array} \quad \begin{array}{r} 12 \\ \hline 5 \end{array} \quad \begin{array}{r} 11 \\ \hline 4 \end{array} \quad \begin{array}{r} 16 \\ \hline 9 \end{array} \quad \begin{array}{r} 13 \\ \hline 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 60 \\ \hline 40 \end{array} \quad \begin{array}{r} 80 \\ \hline 10 \end{array} \quad \begin{array}{r} 100 \\ \hline 60 \end{array} \quad \begin{array}{r} 152 \\ \hline 70 \end{array} \quad \begin{array}{r} 120 \\ \hline 84 \end{array} \quad \begin{array}{r} 114 \\ \hline 36 \end{array} \quad \begin{array}{r} 145 \\ \hline 48 \end{array}$$

きゅうこんの数

はん	うえるもの
一	カンナ
二	ダリヤ
三	グラジオラス
四	百日草

左のように、うえることに
きまりました。

まさおくんたちは、花屋さ
んからきいたとおりにうえる

と、きゅうこんがいくついるかと考えました。

(1) カンナは、図のように三つずつ2列に、
うえることにします。

たてとよこのはしは、それぞれ
何cmずつあくことになるでしょう。

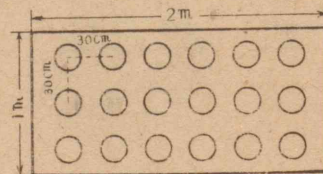
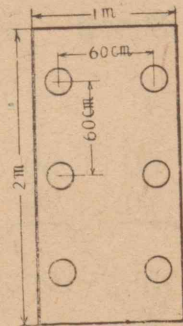
カンナは、いくついますか。

☆(2) ダリヤは、いくつずつ何列
に、うえたらよいでしょう。

ダリヤはいくついますか。

(3) グラジオラスは、
図のように、三つずつ6
列にうえることにします。

たてとよこのはしは、



それぞれ何cmずつあくことになるでしょう。

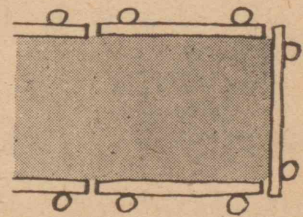
四ばんは、百日草のなえを30本うえることに
しました。

これで、夏から秋まで、教室をじぶんたちの
作った花でかざることができるでしょう。

(4) 新しくうえたかだんのまわりは、土がく
ずれないように、長さ1mずつのいたでかこい
をします。

いたは、みんなで何まいりますか。

(5) どのいたにも2本ず
つくいをうって、たおれな
いようにします。くいは、
みんなで何本いますか。



(6) つぎのよせさんをなさい。

<u>40</u>	<u>60</u>	<u>42</u>	<u>25</u>	<u>57</u>
<u>40</u>	<u>60</u>	<u>42</u>	<u>25</u>	<u>57</u>

(7) つぎの数を、二つの同じ数にわけなさい。

8	10	40	28	64	90	120
---	----	----	----	----	----	-----

きゅうこんのねだん

きゅうこんのねだんは右の表のようでした。

しゅるい	一つのねだん	買った数
カンナ	20円	6
ダリヤ	10円	6
グラジオラス	10円	18
百日草	^{10本では} 20円	30本

1) カンナの代はいくらでしたか。

(2) ダリヤの代はいくらでしたか。

(3) グラジオラスは、どうでしょう。

(4) 百日草の代はいくらだったでしょう。

(5) あわせて、何円になりましたか。

(6) かこいに使ったいたの代は、みんなで50円でした。かだんを作るひ用は、ぜんぶで何円かかったでしょう。

(7) まさおくんたちの組は48人です。ひとりから10円ずつあつめました。何円あつまりましたか。

いくらあまるでしょう。

あまったお金は、学級のお金に入れることにしました。

ま と め

この單元では、つぎのことをおさらいしました。

- (1) かけざん九九。
- (2) 20×6 のようなかけざん。
- (3) かんたんなよせざんとひきざん。
- (4) 12, 40などを、二つの同じ数にわけること。

れんしゅう

(1) つぎのよせざんをなさい。

<u>5</u>	<u>9</u>	<u>6</u>	<u>10</u>	<u>15</u>	<u>17</u>	<u>19</u>
<u>4</u>	<u>1</u>	<u>8</u>	<u>3</u>	<u>6</u>	<u>2</u>	<u>7</u>
<u>42</u>	<u>50</u>	<u>39</u>	<u>65</u>	<u>74</u>	<u>28</u>	<u>36</u>
<u>42</u>	<u>50</u>	<u>39</u>	<u>65</u>	<u>37</u>	<u>43</u>	<u>18</u>
<u>8</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	<u>64</u>	<u>150</u>	<u>170</u>
<u>7</u>	<u>9</u>	<u>8</u>	<u>5</u>	<u>29</u>	<u>260</u>	<u>86</u>
<u>6</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u>	<u>48</u>	<u>350</u>	<u>245</u>

(2) つぎのひきざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 8 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 \\ \underline{1} \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 10 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 13 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 14 \\ \underline{8} \end{array} \quad \begin{array}{r} 17 \\ \underline{9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 84 \\ \underline{7} \end{array} \quad \begin{array}{r} 68 \\ \underline{9} \end{array} \quad \begin{array}{r} 90 \\ \underline{20} \end{array} \quad \begin{array}{r} 70 \\ \underline{30} \end{array} \quad \begin{array}{r} 50 \\ \underline{16} \end{array} \quad \begin{array}{r} 96 \\ \underline{48} \end{array} \quad \begin{array}{r} 42 \\ \underline{17} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 82 \\ \underline{35} \end{array} \quad \begin{array}{r} 75 \\ \underline{48} \end{array} \quad \begin{array}{r} 63 \\ \underline{26} \end{array} \quad \begin{array}{r} 54 \\ \underline{19} \end{array} \quad \begin{array}{r} 91 \\ \underline{52} \end{array} \quad \begin{array}{r} 100 \\ \underline{57} \end{array} \quad \begin{array}{r} 200 \\ \underline{31} \end{array}$$

(3) つぎのかけざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 4 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \underline{7} \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 \\ \underline{8} \end{array} \quad \begin{array}{r} 3 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \underline{9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \underline{8} \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \underline{9} \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 3 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 6 \\ \underline{3} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} 20 \times 7 \quad 60 \times 5 \quad 90 \times 3 \quad 80 \times 6 \quad 30 \times 4 \\ 50 \times 2 \quad 70 \times 8 \quad 50 \times 4 \quad 40 \times 9 \quad 90 \times 7 \end{array}$$

(4) □の中に、あてはまる数を入れなさい。

$$\begin{array}{l} 6 \times \square = 24 \quad 3 \times \square = 6 \quad 5 \times \square = 45 \\ \square \times 8 = 16 \quad \square \times 7 = 63 \quad \square \times 4 = 36 \end{array}$$

(5) つぎの数を、二つの同じ数にわけなさい。

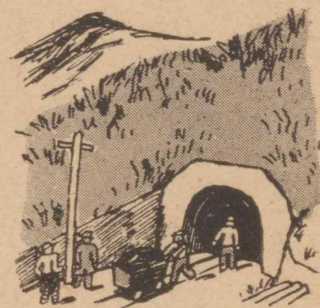
$$14 \quad 22 \quad 80 \quad 36 \quad 70 \quad 160$$

(6) たて10m, よこ30mの長四角の畑があります。この畑のまわりは、何mでしょう。

(7) 上の畑を二つにわけて、一方がま四角になるようにします。二つの畑のまわりは、それぞれ何mずつになりますか。

(8) 山をくりぬいてトンネルをほっています。

トンネルの長さは、240mだそうです。今山のむこうとこちらから80mずつほりました。



あと、何mほればよいでしょう。

(9) たて31cm, よこ24cmの長四角の紙が3まいあります。この紙を、どのつぎめも1cmずつかさなるようにしてつなぎあわせます。

たてにつないだときは、どれだけの長さになりますか。よこにつなぐと、どれだけの長さになりますか。

どちらが、どれだけ長くなりますか。

テスト (1)

(1) つぎのかけざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 9 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ 7 \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ 6 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ 3 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ 2 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ 4 \end{array} \quad \begin{array}{r} 6 \\ 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 50 \\ 8 \end{array} \quad \begin{array}{r} 90 \\ 9 \end{array} \quad \begin{array}{r} 30 \\ 6 \end{array} \quad \begin{array}{r} 10 \\ 4 \end{array} \quad \begin{array}{r} 40 \\ 7 \end{array} \quad \begin{array}{r} 70 \\ 6 \end{array} \quad \begin{array}{r} 80 \\ 3 \end{array}$$

(2) つぎの計算をなさい。

$$2 \times 5 + 5 \quad 7 \times 2 + 6 \quad 3 \times 9 + 8 \quad 6 \times 4 + 7$$

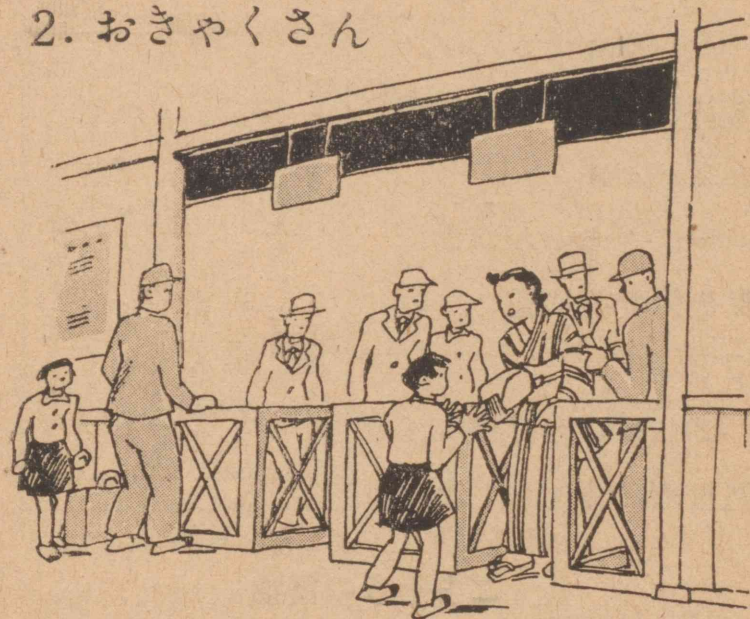
$$4 \times 3 - 6 \quad 8 \times 7 - 9 \quad 9 \times 6 - 4 \quad 5 \times 8 - 2$$

(3) たて6m, よこ8mの長四角のぼう火用水のいけがあります。あふないのでいけのまわりに、ふちから1mずつはなして、長四角のさくを作ります。さくのまわりは、何mになるか、図を書いて考えましょう。

(4) まさおくんは、学校で土曜日に4時間、そのほかの日は5時間ずつべんきょうします。

1週間では、何時間べんきょうするでしょう。

2. おきやくさん



この单元では、おばさんを駅にむかえに
いったり、買物のてつだいをしたりして、
時こく・時間や大きい数のよせざん・ひき
ざんについて、おさらいしましょう。

みよ子さんからのはがき

春子さんは、四月十日に、いとこのみよ子さ

んから、つぎのようなはがきを受け取りました。

(1) みよ子さんは、
何日にこのはがきを書
いていますか。

おばさんのおつきに
なる何日前に書いたの
でしょう。

(2) 書いた日から、
何日めにつきましたか。

さくらは今まんかいでとてもきれ
いです。春子さんも私も四年生ね。
すっかりベンキョウしようしよう。
おかあさんが四月十五日(日)午後
三時四十分につく汽車でおじやまして
二三日とめていた。だいたいといっています
よろしくおねがします。
四月七日 さようなら

ごちそうの買物

きょうは、四月十五日で、おばさんのいらっ
しゃる日です。

ちょうど、日曜日なので、春子さんは、朝か
らおかあさんのおてつだいでおそうじをしたり、
お使いにいったりしました。

春子さんは、おかあさんから百円さつを4ま
いあずかって、ごちそうの買物に行くことにな
りました。

出かける前、どの店から
まわったらよいかと考えた
り、右のような買物の表を
作って、ねだんだけ書きこ
めばよいように用意しまし
た。

しな物	かず	ねだん
にく	100め	
りんご	5	
とうふ	2	
ねぎ	1たば	
計		

(1) にくは、100め120円でした。ねだんの
らんには、120円と書いて、百円さつを2まい出
しました。おつりは、十円さつでくれました。
十円さつを何まいくれたでしょう。

(2) くだものやで、りんごを5こ買いました。
75円でした。ねだんを書き入れて、百円さつを
出しました。

おつりは、いくらきたでしょう。

(3) つぎに、やお屋にいて、とうふを二つ
と、ねぎを1たば買いました。とうふは一つが
10円で、ねぎは38円でした。

あわせて、いくらになりますか。

(4) 春子さんは、ねだんを書き入れ、百円さ

つを1まい出してはらいました。

おつりは、十円さつと一円さつでくれました。

それぞれ、何まいだったでしょう。

(5) 買物は、みんなで行く
らだったでしょう。

(6) お使いから帰ると、書
いた紙を見せて、のこったお
金をかえました。

いくらかえしたでしょう。

☆(7) おかあさんにかえした
のは、どんなしゅるいのおさつが、それぞれ何
まいずつだったでしょう。



つぎの二つずつの数をよせなさい。

また、上の数から下の数をひきなさい。

$\begin{array}{r} 420 \\ \underline{50} \end{array}$	$\begin{array}{r} 130 \\ \underline{30} \end{array}$	$\begin{array}{r} 210 \\ \underline{80} \end{array}$	$\begin{array}{r} 450 \\ \underline{40} \end{array}$	$\begin{array}{r} 340 \\ \underline{70} \end{array}$
--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 170 \\ \underline{160} \end{array}$	$\begin{array}{r} 210 \\ \underline{150} \end{array}$	$\begin{array}{r} 390 \\ \underline{270} \end{array}$	$\begin{array}{r} 430 \\ \underline{290} \end{array}$	$\begin{array}{r} 560 \\ \underline{180} \end{array}$
---	---	---	---	---

おむかえ

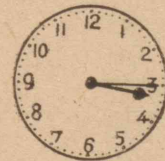
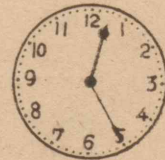
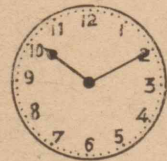
おかあさんは、おうちでごちそうを作ります。
春子さんは、駅までおばさんをむかえに行くこ
とにしました。

汽車は、午後3時40分につきます。家から駅
までは、歩いて25分ほどかかります。

(1) 汽車のつく10分前に、駅につくようにす
るには、家を何時何分ごろ出たら、よいでしょ
う。

(2) 汽車は、よていより5分おくれてつま
しました。駅を出たのは、3時50分でした。家につ
いたのは、何時何分ごろですか。

(3) つぎの時こくをよみなさい。



(4) つぎの時こくをさすとけいの図を書きな
さい。 8時 6時35分 0時40分

ま と め

この單元では、つぎのことをおさらいしました。

- (1) とけいの時こくをよむ。時こくをとけいのはりに書いてあらわす。
- (2) 早すぎたり、おくれたりしないように、時こくのよていをたてる。
- (3) いろいろの物を買うとき、買うじゆんじよを考えたり、買い物ちょうを作つてつける。
- (4) 1000までの大きい数のよせざんとひきざん。

れんしゅう

(1) つぎのよせざんをなさい。

<u>90</u>	<u>25</u>	<u>58</u>	<u>63</u>	<u>85</u>
<u>70</u>	<u>80</u>	<u>34</u>	<u>77</u>	<u>96</u>
<u>160</u>	<u>270</u>	<u>680</u>	<u>123</u>	<u>274</u>
<u>230</u>	<u>360</u>	<u>220</u>	<u>355</u>	<u>413</u>
<u>320</u>	<u>434</u>	<u>177</u>	<u>699</u>	<u>464</u>
<u>595</u>	<u>269</u>	<u>358</u>	<u>209</u>	<u>387</u>

(2) つぎのひきざんをなさい。

<u>100</u>	<u>70</u>	<u>91</u>	<u>62</u>	<u>87</u>
<u>70</u>	<u>23</u>	<u>27</u>	<u>45</u>	<u>38</u>
<u>783</u>	<u>425</u>	<u>365</u>	<u>400</u>	<u>943</u>
<u>431</u>	<u>284</u>	<u>260</u>	<u>146</u>	<u>435</u>
<u>703</u>	<u>804</u>	<u>606</u>	<u>921</u>	<u>537</u>
<u>536</u>	<u>497</u>	<u>208</u>	<u>674</u>	<u>239</u>

(3) つぎの計算をなさい。

$6 \times 5 + 4$	$3 \times 8 + 5$	$4 \times 7 + 3$
$8 \times 6 + 7$	$7 \times 3 + 9$	$9 \times 2 + 6$
$2 \times 9 - 6$	$5 \times 6 - 4$	$6 \times 9 - 3$
$7 \times 4 - 2$	$9 \times 8 - 5$	$8 \times 5 - 1$

(4) つぎの□の中に、あてはまる数を入れなさい。

2日 = □ 時間	5時間 = □ 分
1年 = □ 日	8週間 = □ 日

(5) ふみ子さんは、きのう、午後3時40分から5時20分まで、べんきょうしました。

何時間何分べんきょうしましたか。

(6) ふみ子さんの家から学校までは、歩いて15分かかります。学校は、午前8時40分にはじまります。ふだんは、はじまる15分前につくことにしています。

家を出るのは、何時何分ですか。

(7) きょうは、先生に用事があるので、ふだんより20分早く学校につきたいのです。

何時何分に家を出たらよいでしょう。

(8) 右の表は、ふみ子さんの家のきょうの買物表です。

それぞれ何円何銭ですか。

☆(9) きょうの買物は、みんなでいくらだったでしょう。

きのうは、383円だったそうです。

きょうの方が、いくら多かったでしょう。

(10) 5円25銭、16円8銭を、円で書きなさい。

テスト (2)

(1) つぎのよせざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 350 \\ \underline{60} \end{array} \quad \begin{array}{r} 270 \\ \underline{270} \end{array} \quad \begin{array}{r} 408 \\ \underline{360} \end{array} \quad \begin{array}{r} 194 \\ \underline{243} \end{array} \quad \begin{array}{r} 359 \\ \underline{337} \end{array}$$

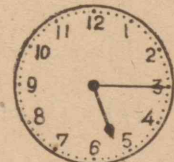
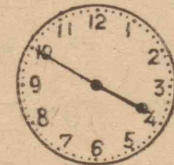
$$\begin{array}{r} 108 \\ \underline{354} \end{array} \quad \begin{array}{r} 206 \\ \underline{495} \end{array} \quad \begin{array}{r} 374 \\ \underline{198} \end{array} \quad \begin{array}{r} 545 \\ \underline{257} \end{array} \quad \begin{array}{r} 494 \\ \underline{209} \end{array}$$

(2) つぎのひきざんをなさい。

$$\begin{array}{r} 470 \\ \underline{40} \end{array} \quad \begin{array}{r} 730 \\ \underline{80} \end{array} \quad \begin{array}{r} 610 \\ \underline{150} \end{array} \quad \begin{array}{r} 500 \\ \underline{230} \end{array} \quad \begin{array}{r} 800 \\ \underline{368} \end{array}$$

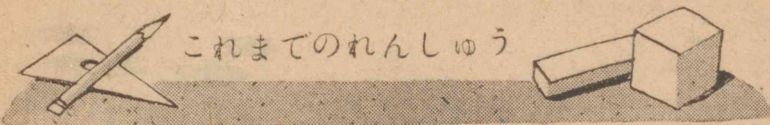
$$\begin{array}{r} 520 \\ \underline{212} \end{array} \quad \begin{array}{r} 982 \\ \underline{365} \end{array} \quad \begin{array}{r} 706 \\ \underline{444} \end{array} \quad \begin{array}{r} 402 \\ \underline{176} \end{array} \quad \begin{array}{r} 817 \\ \underline{519} \end{array}$$

(3) 私は、きのう、右のとけいの図のよう
にべんきょうしました。



何時何分から、何時何分まで、べんきょうしましたか。

(4) べんきょうした時間は、何時間何分でしたか。



(1) つぎのかけざんをなさい。

3×4 6×9 8×3 2×3 9×2

20×7 50×3 30×8 60×2 40×4

80×8 40×5 90×7 70×6 30×9

$\begin{array}{r} 4 \\ 6 \end{array}$ $\begin{array}{r} 7 \\ 5 \end{array}$ $\begin{array}{r} 5 \\ 8 \end{array}$ $\begin{array}{r} 2 \\ 9 \end{array}$ $\begin{array}{r} 6 \\ 8 \end{array}$ $\begin{array}{r} 3 \\ 5 \end{array}$ $\begin{array}{r} 7 \\ 3 \end{array}$

$\begin{array}{r} 3 \\ 3 \end{array}$ $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \end{array}$ $\begin{array}{r} 8 \\ 7 \end{array}$ $\begin{array}{r} 5 \\ 4 \end{array}$ $\begin{array}{r} 9 \\ 6 \end{array}$ $\begin{array}{r} 2 \\ 2 \end{array}$ $\begin{array}{r} 6 \\ 3 \end{array}$

(2) つぎの□の中に、あてはまる数を入れなさい。

$5 \times \square = 35$ $3 \times \square = 9$ $6 \times \square = 42$

$\square \times 4 = 20$ $\square \times 8 = 56$ $\square \times 6 = 48$

$30 \times \square = 120$ $70 \times \square = 280$ $90 \times \square = 540$

$\square \times 7 = 420$ $\square \times 5 = 400$ $\square \times 9 = 720$

☆ つぎのかけざんをなさい。

$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \end{array}$ $\begin{array}{r} 8 \\ 9 \end{array}$ $\begin{array}{r} 3 \\ 7 \end{array}$ $\begin{array}{r} 6 \\ 5 \end{array}$ $\begin{array}{r} 4 \\ 8 \end{array}$ $\begin{array}{r} 7 \\ 9 \end{array}$ $\begin{array}{r} 5 \\ 6 \end{array}$ $\begin{array}{r} 4 \\ 3 \end{array}$ $\begin{array}{r} 9 \\ 8 \end{array}$ $\begin{array}{r} 5 \\ 2 \end{array}$

$\begin{array}{r} 4 \\ 7 \end{array}$ $\begin{array}{r} 6 \\ 4 \end{array}$ $\begin{array}{r} 8 \\ 5 \end{array}$ $\begin{array}{r} 7 \\ 8 \end{array}$ $\begin{array}{r} 9 \\ 3 \end{array}$ $\begin{array}{r} 8 \\ 2 \end{array}$ $\begin{array}{r} 9 \\ 7 \end{array}$ $\begin{array}{r} 3 \\ 6 \end{array}$ $\begin{array}{r} 5 \\ 7 \end{array}$ $\begin{array}{r} 2 \\ 5 \end{array}$

(3) つぎのよせざんをなさい。

$\begin{array}{r} 75 \\ 36 \end{array}$ $\begin{array}{r} 47 \\ 39 \end{array}$ $\begin{array}{r} 26 \\ 98 \end{array}$ $\begin{array}{r} 54 \\ 39 \end{array}$ $\begin{array}{r} 66 \\ 34 \end{array}$

$\begin{array}{r} 457 \\ 128 \end{array}$ $\begin{array}{r} 308 \\ 405 \end{array}$ $\begin{array}{r} 692 \\ 208 \end{array}$ $\begin{array}{r} 219 \\ 384 \end{array}$ $\begin{array}{r} 468 \\ 378 \end{array}$

$\begin{array}{r} 16 \\ 27 \\ 35 \end{array}$ $\begin{array}{r} 215 \\ 108 \\ 393 \end{array}$ $\begin{array}{r} 109 \\ 208 \\ 307 \end{array}$ $\begin{array}{r} 417 \\ 136 \\ 257 \end{array}$ $\begin{array}{r} 208 \\ 350 \\ 249 \end{array}$

(4) つぎのひきざんをなさい。

$\begin{array}{r} 63 \\ 28 \end{array}$ $\begin{array}{r} 41 \\ 29 \end{array}$ $\begin{array}{r} 92 \\ 66 \end{array}$ $\begin{array}{r} 100 \\ 75 \end{array}$ $\begin{array}{r} 200 \\ 134 \end{array}$

$\begin{array}{r} 208 \\ 195 \end{array}$ $\begin{array}{r} 600 \\ 277 \end{array}$ $\begin{array}{r} 700 \\ 508 \end{array}$ $\begin{array}{r} 691 \\ 297 \end{array}$ $\begin{array}{r} 824 \\ 166 \end{array}$

$200 - 36 - 57 - 74$ $840 - 315 - 108 - 256$

$431 - 47 - 69 - 93$ $1000 - 158 - 347 - 234$

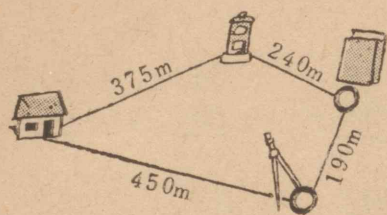
☆ $\begin{array}{r} 28 \\ 39 \\ 42 \\ +57 \end{array}$ $\begin{array}{r} 69 \\ 37 \\ 24 \\ +58 \end{array}$ $\begin{array}{r} 77 \\ 88 \\ 66 \\ +55 \end{array}$ $\begin{array}{r} 105 \\ 78 \\ 127 \\ +316 \end{array}$ $\begin{array}{r} 217 \\ 358 \\ 109 \\ +270 \end{array}$ $\begin{array}{r} 154 \\ 149 \\ 237 \\ +316 \end{array}$

$200 - 26 - 38 - 79$

$750 - 108 - 216 - 319$

$800 - 308 - 125 - 243$

$900 - 216 - 347 - 163$

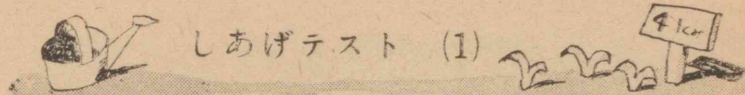


ひろしくんは、午後3時に家を出て、ゆうびんきょくにいき、切手を買って、

手紙を2通^つポストに入れました。つぎに本屋へ行って本を買いました。

それから、ぶんぼうぐ屋にいてノートとコンパスを買って家に帰りました。とけいを見ると、午後4時10分でした。

- (5) 切手代は、みんなでいくらでしたか。
- 百円さつを出したら、おつりはいくらでしたか。
- (6) ぶんぼうぐ屋ではいくらはらいましたか。
- (7) 買物は、みんなでいくらだったでしょう。
- (8) 家を出て帰ってくるまでに、どれだけの時間がかかりましたか。
- (9) 3時半に帰るのには、ひろしくんは、いつ家を出たらよいでしょう。
- (10) 帰ってくるまでにどれだけ歩きましたか。



しあげテスト (1)

(1) つぎを、よせざんなさい。

<u>57</u>	<u>64</u>	<u>76</u>	<u>85</u>	<u>93</u>
<u>28</u>	<u>39</u>	<u>54</u>	<u>18</u>	<u>38</u>
<u>636</u>	<u>217</u>	<u>459</u>	<u>695</u>	<u>634</u>
<u>106</u>	<u>183</u>	<u>279</u>	<u>108</u>	<u>298</u>

(2) 上の問題を、ひきざんでなさい。

(3) つぎのまちがいをなおしなさい

$$6 \times 9 = 54 \quad 7 \times 3 = 24 \quad 8 \times 4 = 36$$

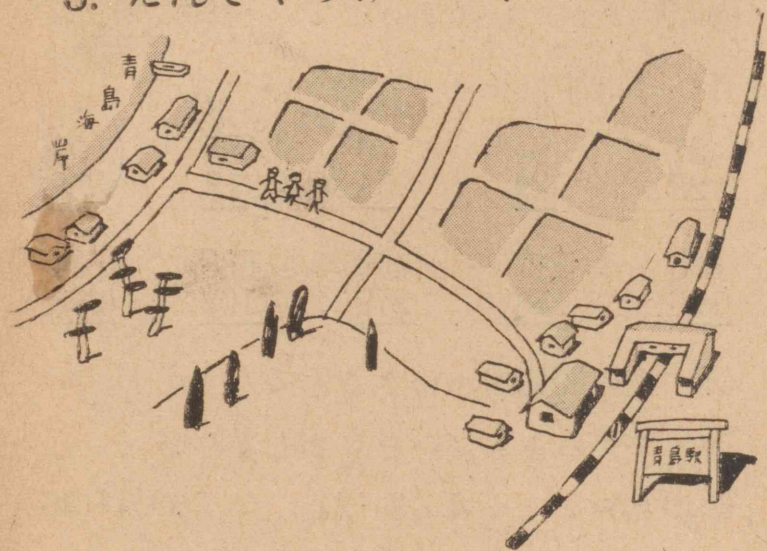
$$8 \times 6 = 42 \quad 9 \times 5 = 40 \quad 7 \times 8 = 56$$

$$4 \times 9 = 36 \quad 8 \times 8 = 63 \quad 6 \times 2 = 12$$

(4) おとうさんは、きょう午後4時に、お友だちと駅であうやくそくだそうです。家から駅までは、歩いて45分、自転車では20分かかります。

やくそくの10分前に、駅につくのには、自転車なら何時何分に家を出たらよいでしょう。歩いてなら、どうでしょう。

3. えんそくのけいかく



この单元では、えんそくのけいかくをしたり、時こくを1分たんでよんだり、時間を計算したりすることをまなびましょう。

五月のよてい

五月のたのしいぎょうじのよていが、教室のうしろがわのこくばんに書いてあります。



- (1) 運動会は、何日ですか。
- (2) えんそくは、何日にありますか。
- (3) 五月生まれの人は4人です。たんじょう会は、何日にありますか。

私たちの学校では、どんなぎょうじがあるかしらべましょう。

けいかく

まさおくんたちの組では、青島海岸へしおひがりにいくことになりました。

はんごとにいいんがでて、つぎのようにけいかくをたてました。

② いいんのうち、
ふたりがいろいろのこ
とをしらべにいく。

④ 先生にも、つい
ていってもらって、そ
うだんする。

⑤ こうしょうにい
くのは、まさおくと
かず子さんのふたりにする。

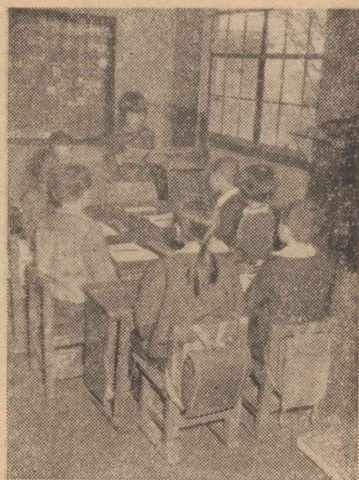
ふたりは、六日(日)、先生と駅のこうしょう
や、かいとりのいろいろのこうしょうをしてき
ました。

あくる日、いいん会をひらいて、くわしいけ
いかくをそうだんしました。

かず子さんのはっぴょう

いいん会でできたことを、かず子さんがは
っぴょうしました。

「私たちは、きのうのいいん会で、しおひがり



のけいかくを、つぎのようにたてました。

しおのかげんで、あつまる時こくを早くしま
した。おくれないようにしてください。」

かず子さんは、地図とよていを書いた紙とを
はって、せつめいしています。

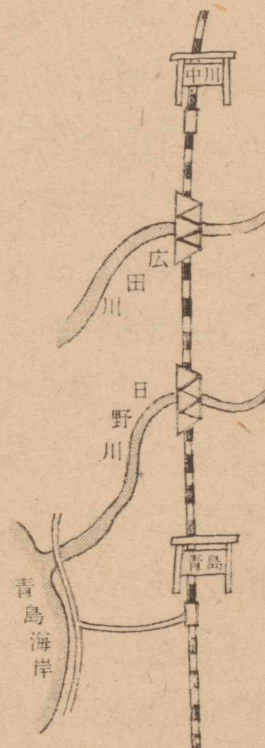
もくてき 海岸の動物、かいそうのけんきゅう
日どり 五月十八日(金)

雨のときは、あくる日

時	分	
午前	7 30	中川駅にあつまる
	8 02	電車が出る
	9 05	青島駅につく
	9 15	歩きだす
	9 40	青島海岸につく
	10 10	かいとりをはじめる
	11 20	かいとりをやめる
	11 40	おべんとう 自由時間
午後	0 30	あつまる

かはやかになどの動物 } のけんきゅう
かいそう }
しおのみちひ }

2 00	海岸を出る
2 25	青島駅につく
2 43	電車が出る
2 46	中川駅につく
4 00	かいさん



「電車は、□時□分に出ます。あつまってから、電車が出るまで、やく□分間あります。

電車は、□時□分に青島駅につきます。電車にのっている時間は、□時間□分です。

とちゅう、広田川と日野川をわたります。電車のまどから、きいろにみのった麦畑や、青青したなわしろが見えます。

電車をおりて、海岸まで歩きます。歩く時間は、やく□分間です。

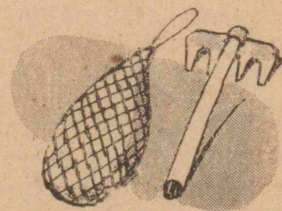
海岸の山田屋につくのは、□時□分ごろで、かいとりをはじめるのは□時□分のよていです。

□分間ありますが、この間に、ようふくをぬいだり、たびをはいたりしてしたくをします。

くまでとふくろをもらいます。

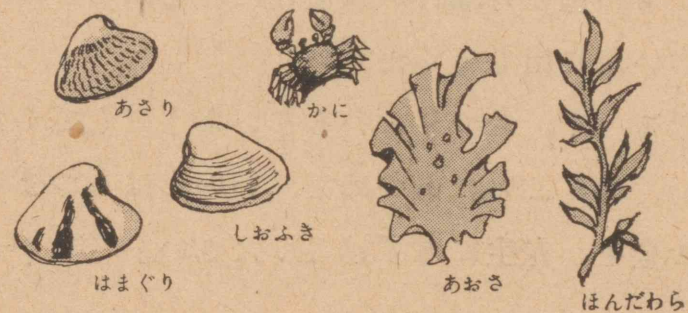
□時□分まで、やく□時間□分かいとりをしましょう。

□時□分ごろ、おべんとうをたべはじめます。



□時ごろまで、私たちのとったかいやかいそうについて、けんきゅうしましょう。

また、しおがいちばんみちたときには、どのへんまでくるか。どうして、みちひがおこるかなどのけんきゅうもしましょう。」



かず子さんは、□の中を何とって話したでしょう。また、このつづきを、かず子さんにかわって、話してごらん下さい。

まさおくんのはっぴょう

つぎに、まさおくんは、こくばんにつぎのように書きながら、えんそくのひ用のせつめいをしました。

電車ちん(かたみち)-----	23円
やすみた ^い -----	10円
ふく ^ろ かいとりだい-----	12円
くまでのかりちん-----	5円

「ぼくは、えんそくのひ用について、お話しします。ひとりぶんのひ用は、

こくばんに書いたとおりです。えんそくのひ用は、らい週の月曜日か火曜日に、じぶんのはんのいいんに出してください。

なるべく、おつりのいらぬようにしてください。はんごとにあつめて、いいんはあつまったお金を、先生にあずけてください。」

- (1) 電車ちんは、おうふくでひとりぶんが、いくらになりますか。
- (2) えんそくのひ用は、ひとりぶんが、いくらになりますか。
- (3) つぎのよせざんをなさい。

		38	173	204	417
23	47	19	259	308	183
<u>23</u>	<u>47</u>	<u>44</u>	<u>106</u>	<u>155</u>	<u>261</u>

ま と め

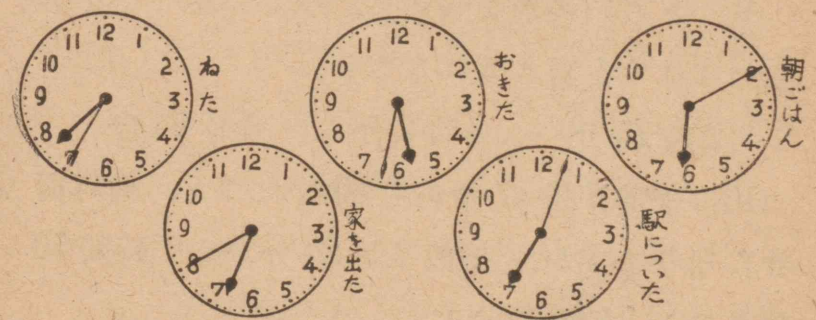
この单元では、つぎのことをまなびました。

- (1) 1分たんで、時こくをあらわす。
- (2) 汽車、電車などの発車時こくは、時・分をたんで書いてある。
- (3) けいかくをたてるため、じっさいにでかけてしらべたり、こうしょうしてくる。

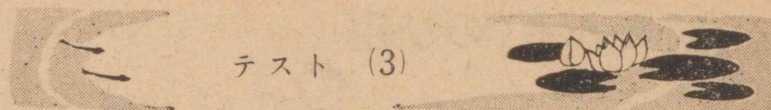
れんしゅう

えんそくの朝は早いので、かず子さんは、まえもって、時間をしらべてみました。

下は、かず子さんが、ゆうべねてから、けさ駅につくまでにはかってみた時こくです。

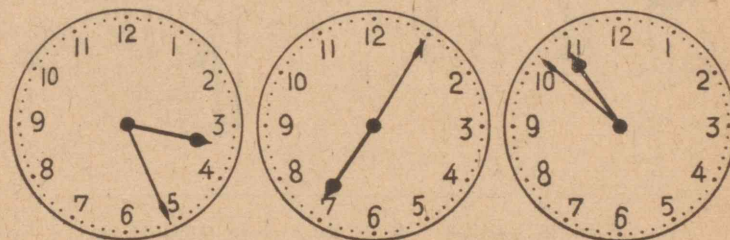


- (1) それぞれ何時何分ですか。
- (2) ねた時からよなかの12時までには、何時間何分ありましたか。
- (3) 12時からおきた時まで、何時間何分ありましたか。
- (4) ねていた時間は何時間何分でしたか。
- (5) おきた時から朝ごはんまで、何分間ありましたか。
- (6) ごはんを食べはじめてから、家を出るまでに、何分間ありましたか。
- (7) 家から駅まで、何分間かかりましたか。
- (8) 駅に7時15分につくのには、家を何時何分に出たらよいでしょう。
- (9) とけいの図を書いて、つぎの時こくをあらわすはりを書き入れなさい。
2時15分 3時2分 6時54分
- (10) 午前8時47分から30分たつと、何時何分になりますか。午後3時24分から1時間50分たつと、何時何分でしょう。



テスト (3)

- (1) とけいの長いはりが、12のところから3のところまでまわると、何分間たちますか。
- (2) つぎの時こくをよみなさい。

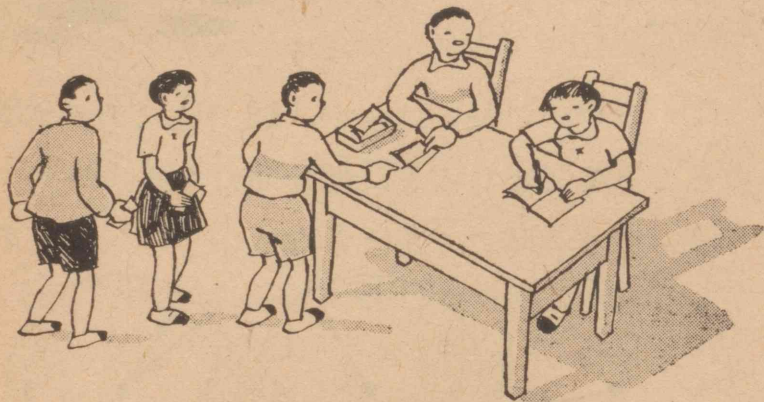


- (3) とけいの図を書いて、つぎの時こくをあらわすように、はりを書き入れなさい。

1時25分 5時8分 0時41分

- (4) つぎは、何時間何分ありますか。
- ② 午後1時から、午後5時25分まで。
- ③ 午前8時18分から、午前10時まで。
- ④ 午後3時26分から、午後7時3分まで。
- (5) つぎは、何時何分になりますか。
- ② 午前7時37分から40分たつと。
- ③ 午後4時26分から1時間15分たつと。

4. えんそくのひ用



この単元では、えんそくのひ用を計算したり、せいりしたりして、新しいかけざんのかたや表にまとめることをまなびましょう。

電車ちん

中川駅から青島駅までの電車ちんは 23 円です。ひとりぶんは、おうふくで、何円になるかを計算しましょう。

(1) よせざんで計算するには、どうしますか。

(2) 同じ数をよせるとき、ほかにどんなしかたがありますか。

(3) 6を五つよせるとき、かけざんでは、どう書きますか。

(4) 23を二つよせるとき、かけざんでは、どう書きますか。

右のよせざんで、一の位くゐをかけざんでなさい。十の位をかけざんでなさい。

23 +23	23 × 2
-----------	-----------

よせざんと同じしかたで、上のかけざんを、一の位くゐからなさい。

(5) つぎの□の中は、いくつでしょう。

$$2 \times 3 = 3 \times \square \quad 4 \times 6 = 6 \times \square \quad 8 \times 3 = 3 \times \square$$

$$5 \times 9 = \square \times 5 \quad 7 \times 8 = \square \times 7 \quad 9 \times 4 = \square \times 9$$

23 +23

㉑
$$\begin{array}{r} 23 \\ +23 \\ \hline 6 \end{array}$$

三二が六

㉒
$$\begin{array}{r} 23 \\ +23 \\ \hline 46 \end{array}$$

二二が四

23 × 2

㉓
$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 2 \\ \hline 6 \end{array}$$

二三が六

㉔
$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 2 \\ \hline 46 \end{array}$$

二二が四

(6) 左のよせざんとかけざんで九九のとなえかたは、どちらがいますか。

(7) 右のよせざんとかけざんで、九九のとなえかたをくらべなさい。

$$\begin{array}{r} 23 \\ 23 \\ +23 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

(8) つぎのよせざんをなさい。また、かけざんになおして計算なさい。

$\begin{array}{r} 24 \\ 24 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 32 \\ 32 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 44 \\ 44 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 32 \\ 32 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 33 \\ 33 \\ \hline \end{array}$
---	---	---	---	---

かいとりだい

かいをとるひ用や、かいをいれるふくろだいとして、ひとりが12円ずつかかります。

4人ぶんは、いくらになるか計算しましょう。

$$\begin{array}{r} 12 \\ 12 \\ 12 \\ +12 \\ \hline \end{array}$$

㉑ $\begin{array}{r} 12 \\ 12 \\ 12 \\ +12 \\ \hline 8 \end{array}$
二四が八

㉒ $\begin{array}{r} 12 \\ 12 \\ 12 \\ +12 \\ \hline 48 \end{array}$
一四が四

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

㉑ $\begin{array}{r} 12 \\ \times 4 \\ \hline 8 \end{array}$
四二が八

㉒ $\begin{array}{r} 12 \\ \times 4 \\ \hline 48 \end{array}$
四一が四

(1) 左のよせざんに使った九九と、かけざんに使った九九とは、となえかたが、どちらがいますか。

(2) 4人ぶんのひ用を計算するとき、よせざんとかけざんと、どちらがべんりですか。

(3) 1×4 は、よせざんで、どう書きますか。
 1×4 , 1×5 , 1×7 は、いくつになりますか。
 4×1 , 5×1 , 9×1 は、いくつになるでしょう。

(4) 30×2 は、いくつになりますか。
三二が60と計算することもできますが、つぎのように、九九を使ってもできます。

$$\begin{array}{r} 30 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$$

㉑ $\begin{array}{r} 30 \\ \times 2 \\ \hline 0 \end{array}$
二れいがれい

㉒ $\begin{array}{r} 30 \\ \times 2 \\ \hline 60 \end{array}$
二三が六

(5) 0×3 は、よせざんで、どう書きますか。
 0×3 , 0×5 , 0×8 は、いくらでしょう。
 3×0 , 5×0 , 9×0 は、いくらでしょう。

0には、どんな数をかけても0となり、
どんな数に0をかけても0となる。

(6) つぎのかけざんをなさい。
 1×6 , 1×9 , 1×2 , 0×4 , 0×6 ,
 2×0 , 8×1 , 1×0 , 7×0 , 3×1 ,

かけざんでは、つぎの九九も使くと、べんりです。

①	<small>いんいち</small> 一一が一	<small>いんに</small> 一二が二	<small>いんさん</small> 一三が三	<small>いんし</small> 一四が四
	<small>いんご</small> 一五が五	<small>いんろく</small> 一六が六	<small>いんしち</small> 一七が七	<small>いんはち</small> 一八が八
	<small>いんく</small> 一九が九			
②	二一が二	三一が三	四一が四	五一が五
	六一が六	七一が七	八一が八	九一が九
③	一れいがれい	二れいがれい	三れいがれい	
	四れいがれい	五れいがれい	六れいがれい	
	七れいがれい	八れいがれい	九れいがれい	
④	れい一がれい	れい二がれい	れい三がれい	
	れい四がれい	れい五がれい	れい六がれい	
	れい七がれい	れい八がれい	れい九がれい	
	れいれいがれい			

(7) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんでたしかめましょう。

$\begin{array}{r} 21 \\ 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 11 \\ 6 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 41 \\ 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 30 \\ 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 12 \\ 4 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 10 \\ 7 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 13 \\ 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 40 \\ 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 22 \\ 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 11 \\ 9 \\ \hline \end{array}$

(8) つぎを、かけざんになおして計算なさい。

$12+12+12$	$11+11+11+11$
$32+32+32$	$21+21+21+21$

お金あつめ

月曜日に、お金をもってきた人は、つぎのようでした。ひとりぶんは73円です。

はん	人数	お 金
一	2	146
二	1	73
三	4	292
四	2	146
五	4	292
六	1	73
七	3	219
八	3	219
計		

いいんたちは、あつまつたお金を、先生のところにもっていき、左のような表を作って、はんごとの人数と金高を書き入れました。

先生は、人数と金高の数字があっているか、また、お金がただしいかしらべて

受けとられました。

(1) 一ばんは、146円でよいでしょうか。

かけざんでは、どうして計算すればよいでしょう。下を見て、そのしかたを考えましょう。

$$\begin{array}{r} 73 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$$

① $\begin{array}{r} 73 \\ \times 2 \\ \hline 6 \\ \hline \end{array}$
二三が六
一の位に6と書く

② $\begin{array}{r} 73 \\ \times 2 \\ \hline 146 \\ \hline \end{array}$
二七十四
十の位から14と書く

(2) 三はんは、いくらになるか、下を見て、そのしかたを考えなさい。

$$\begin{array}{r} 73 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

③ $\begin{array}{r} 73 \\ \times 4 \\ \hline 12 \\ \hline \end{array}$

四三十二
一の位に2を書いて
くりあがり1

④ $\begin{array}{r} 73 \\ \times 4 \\ \hline 292 \\ \hline \end{array}$

四七二十八
くりあがりの1をよせて
十の位から29と書く

(3) 四はんから八はんまでのぶんも、計算して、表とくらべましょう。

(4) きょう、もってきた人は何人ですか。あつまったお金は、みんなで何円ですか。八つのはんの金高をよせて、計算なさい。

かけさんでは、どうしたらよいでしょうか。

☆ 73×20 を計算するには、73を2ばいして、また10ばいします。いくらになりますか。

(5) はんごとの金高をよせた合計と、かけさんで計算した答とあいましたか。

九百九十九のつぎは千で、千から上は、千一、千二、千三……とかぞえていく。
千が二つで二千、三つで三千、四つで四千、十で一万となる。

(6) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんでたしかめなさい。

$$\begin{array}{r} 25 \\ \underline{3} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 46 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 15 \\ \underline{6} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 27 \\ \underline{4} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 13 \\ \underline{5} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 58 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 43 \\ \underline{9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 74 \\ \underline{4} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 36 \\ \underline{7} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 25 \\ \underline{8} \end{array}$$

火曜日には、のこりの人がみんなお金をもってきました。もってきた人数は、つぎの表のとおりです。

はん	人数	お 金
一	4	
二	5	
三	2	
四	4	
五	2	
六	5	
七	3	
八	3	
計		

いいんたちは、お金をせいでりして、先生にあずけました。

先生は、人数とお金をしらべて、お受けとりになりました。

はんごとのお金は、それぞれ何円でしよう。

表に書き入れなさい。

(7) きょう、もってきた人は何人ですか。
 お金は、みんなでいくらあつまったでしょう。
 はんごとのぶんを合計なさい。

● きょう、もってきた人は28人で、あつまったお金が何円になるかを、かけざんで計算するには、 73×28 とします。
 この計算のしかたは、四年下の本でまなびます。

(8) きょうとあわせて、何円になりましたか。

(9) きょうのぶんを、表にまとめてみましょう。お金は、これでよいかたしかめなさい。

	人 数			お 金		
	月	火	計	月	火	計
一	2	4	6	146	292	438
二	1	5	6	73	365	438
三	4	2	6	292	146	438
四	2	4	6	146	292	438
五	4	2	6	292	146	438
六	1	5	6	73	365	438
七	3	3	6	219	219	438
八	3	3	6	219	219	438
計	20	28	48	1460	2044	3504

ぜんたいのひ用

かず子さんの組は48人で、どのはんも6人ずつです。

(1) はんの数は、いくつできますか。

(2) かず子さんは、一ばんのいいんです。きょうは2人ぶん、きょうは4人ぶん、先生にあずけました。あわせて何円でしたか。

(3) 一つのはんのひ用は、何円ですか。かけざんでなさい。 73×6

(4) 一ばんから八はんまでのひ用は、みんなで何円になりますか。 438×8

下を見て、かけざんのしかたを考えましょう。

$$\begin{array}{r} 438 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\textcircled{a} \begin{array}{r} 438 \\ \times 8 \\ \hline 4 \end{array}$$

$$\textcircled{b} \begin{array}{r} 438 \\ \times 8 \\ \hline 04 \end{array}$$

$$\textcircled{c} \begin{array}{r} 438 \\ \times 8 \\ \hline 3504 \end{array}$$

八八 六十四
一の位に4を書いて
くりあがり6
この6は10が六つ

八三 二十四
くりあがった6を
よせて30
十の位に0を書いて
くりあがり3
この3は100が三つ

八四 三十二
くりあがった3を
よせて
百の位から35と書く

(5) かけざんで計算した答と、前のページの表の月火のぶんをよせた答とあいましたか。

(6) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんでたしかめましょう。

$$\begin{array}{r} 221 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 304 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 210 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 147 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 109 \\ \underline{8} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 406 \\ \underline{7} \end{array} \quad \begin{array}{r} 320 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 105 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 153 \\ \underline{9} \end{array} \quad \begin{array}{r} 350 \\ \underline{4} \end{array}$$

くまでのかりちん

かいとりに使うくまでのかりちんは、ひとつが5円です。48かりると、何円ですか。

$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 48 \\ \hline \end{array}$$

$$\textcircled{a} \begin{array}{r} 5 \\ \times 48 \\ \hline 0 \end{array}$$

八五 四十
一の位に0を書いて
くりあがり4
この4は10が四つ

$$\textcircled{b} \begin{array}{r} 5 \\ \times 48 \\ \hline 240 \end{array}$$

四五 二十
くりあがった4をよせ
て十の位から24と書く

上を見て、かけざんのしかたを考えましょう。

(1) 5×48 と 48×5 と答を

くらべなさい。

$$\begin{array}{r} 5 \quad 48 \\ \times 48 \quad \times 5 \\ \hline \end{array}$$

(2) 5×48 の答を、よせざんでたしかめるには、どんなにしたらべんりでしょう。

かけざんでは、かける数とかけられる数とをとりかえても、答は同じです。

(3) 5×48 の答を、かけざんでたしかめるには、どうしたらよいでしょう。

(4) 1本6円のえんぴつを123本買うと、何円になりますか。下を見て、そのしかたを考えなさい。

$$\begin{array}{r} 6 \\ \times 123 \\ \hline \end{array}$$

$$\textcircled{a} \begin{array}{r} 6 \\ \times 123 \\ \hline 18 \end{array}$$

$$\textcircled{b} \begin{array}{r} 6 \\ \times 123 \\ \hline 18 \end{array}$$

$$\textcircled{c} \begin{array}{r} 6 \\ \times 123 \\ \hline 738 \end{array}$$

(5) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんで、また、かけざんでたしかめなさい。

$$\begin{array}{r} 5 \\ \underline{12} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \underline{49} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \underline{26} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7 \\ \underline{68} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \\ \underline{24} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \underline{146} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \\ \underline{258} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \underline{214} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \\ \underline{125} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \\ \underline{317} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 453 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 112 \\ \underline{8} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 307 \\ \underline{3} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 168 \\ \underline{5} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 251 \\ \underline{7} \end{array}$$

ま と め

この单元では、つぎのことをまなびました。

- (1) 1のだんのかげさん九九。
- (2) 0にどんな数をかけても0, どんな数に0をかけても0となる。

$$\begin{array}{r} (3) \quad 23 \quad 136 \quad 4 \quad 3 \\ \times 6 \quad \times 5 \quad \times 61 \quad \times 126 \end{array}$$

のような、かけさんのしかた。

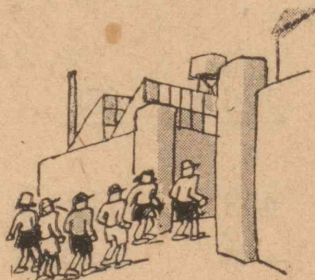
(4) かけさんの答は、よせざんでたしかめられる。また、かけざんでもたしかめられる。

(5) お金などをあつめるとき、表にまとめる。

れんしゅう

(1) しげるくんたち48人は、きのう、先生につれられて、バスにのって、町の工場へ見学にきました。

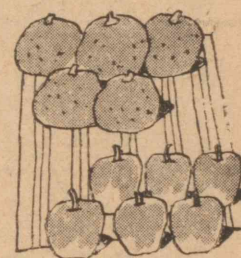
バス代は、かたみちがおとなも子どもも、ひ



とり8円でした。先生がまとめておはらいになりました。おうふくで、何円おはらいになったでしょう。

(2) 一つ3円のあめを35買いました。いくららえばよいでしょう。

(3) 16円のなつみかんを5こ、12円のりんごを6こ買いました。あわせて、何円になりますか。



どちらが何円多いでしょう。

(4) 本だいを、ひとり64円ずつ出すことになりました。はんは、一から八まであります。

下に書いてないのは、だれも出さなかったはんです。本だいをもってきた人数は、下のようです。

42ページのような表にまとめなさい。

(木曜日)	一ばん…2	二はん…1	三ばん…2	四はん…3
	五はん…4	七はん…3	八はん…2	
(金曜日)	一ばん…4	二はん…3	三ばん…3	五はん…2
	六ばん…5	七はん…3	八はん…2	
(土曜日)	二はん…2	三ばん…1	四はん…3	六ばん…1
	八はん…2			

(5) つぎのかけざんをなさい。

$$\begin{array}{ccccc} 3 \times 0 & 9 \times 3 & 1 \times 5 & 0 \times 2 & 4 \times 8 \\ 5 \times 1 & 6 \times 0 & 5 \times 9 & 1 \times 7 & 0 \times 8 \\ 0 \times 1 & 8 \times 6 & 8 \times 1 & 9 \times 0 & 1 \times 3 \end{array}$$

(6) つぎの□に、あてはまる数を入れなさい。

$$\begin{array}{ccc} 1 \times 6 = 6 \times \square & 0 \times 3 = 3 \times \square & 0 \times 7 = 7 \times \square \\ \square \times 4 = 4 & 5 \times \square = 0 & \square \times 1 = 9 \\ 35 \times \square = 0 & 16 \times \square = 16 & \square \times 28 = 0 \end{array}$$

(7) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんでたしかめなさい。また、かけざんでも、たしかめましょう。

$$\begin{array}{ccccc} \begin{array}{r} 19 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 25 \\ \underline{9} \end{array} & \begin{array}{r} 46 \\ \underline{8} \end{array} & \begin{array}{r} 78 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 59 \\ \underline{2} \end{array} \\ \begin{array}{r} 113 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 135 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 170 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 217 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 254 \\ \underline{3} \end{array} \\ \begin{array}{r} 7 \\ \underline{14} \end{array} & \begin{array}{r} 9 \\ \underline{18} \end{array} & \begin{array}{r} 3 \\ \underline{27} \end{array} & \begin{array}{r} 8 \\ \underline{68} \end{array} & \begin{array}{r} 4 \\ \underline{83} \end{array} \\ \begin{array}{r} 9 \\ \underline{104} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{128} \end{array} & \begin{array}{r} 6 \\ \underline{117} \end{array} & \begin{array}{r} 2 \\ \underline{480} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{127} \end{array} \end{array}$$

(8) つぎを、よせざんでなさい。また、ひきざんでなさい。

$$\begin{array}{ccccc} \begin{array}{r} 36 \\ \underline{27} \end{array} & \begin{array}{r} 40 \\ \underline{18} \end{array} & \begin{array}{r} 74 \\ \underline{39} \end{array} & \begin{array}{r} 91 \\ \underline{23} \end{array} & \begin{array}{r} 85 \\ \underline{66} \end{array} \\ \begin{array}{r} 654 \\ \underline{280} \end{array} & \begin{array}{r} 524 \\ \underline{398} \end{array} & \begin{array}{r} 368 \\ \underline{207} \end{array} & \begin{array}{r} 279 \\ \underline{183} \end{array} & \begin{array}{r} 506 \\ \underline{297} \end{array} \\ \begin{array}{r} 453 \\ \underline{165} \end{array} & \begin{array}{r} 582 \\ \underline{289} \end{array} & \begin{array}{r} 655 \\ \underline{256} \end{array} & \begin{array}{r} 301 \\ \underline{105} \end{array} & \begin{array}{r} 704 \\ \underline{296} \end{array} \end{array}$$

(10) つぎのかけざんを、できるだけ早くなさい。何かいもれんしゅうして、かかった時間、まちがった数を表に書いて、せいせきをくらべなさい。

$$\begin{array}{ccccccccc} \begin{array}{r} 2 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{1} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{3} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 3 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 2 \\ \underline{1} \end{array} & \begin{array}{r} 8 \\ \underline{2} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 8 \\ \underline{8} \end{array} & \begin{array}{r} 4 \\ \underline{2} \end{array} \\ \begin{array}{r} 3 \\ \underline{1} \end{array} & \begin{array}{r} 9 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{3} \end{array} & \begin{array}{r} 9 \\ \underline{0} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{8} \end{array} & \begin{array}{r} 9 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{1} \end{array} & \begin{array}{r} 6 \\ \underline{4} \end{array} \\ \begin{array}{r} 7 \\ \underline{0} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 9 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{2} \end{array} & \begin{array}{r} 4 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 2 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 8 \\ \underline{9} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{4} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 4 \\ \underline{9} \end{array} \\ \begin{array}{r} 3 \\ \underline{3} \end{array} & \begin{array}{r} 6 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 2 \\ \underline{9} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 4 \\ \underline{3} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{8} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{0} \end{array} \\ \begin{array}{r} 9 \\ \underline{5} \end{array} & \begin{array}{r} 0 \\ \underline{9} \end{array} & \begin{array}{r} 3 \\ \underline{7} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{8} \end{array} & \begin{array}{r} 1 \\ \underline{9} \end{array} & \begin{array}{r} 6 \\ \underline{3} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{1} \end{array} & \begin{array}{r} 5 \\ \underline{6} \end{array} & \begin{array}{r} 8 \\ \underline{0} \end{array} & \begin{array}{r} 7 \\ \underline{2} \end{array} \end{array}$$

テスト (4)



(1) つぎのかけざんをなさい。

1×4 0×6 1×8 7×0 5×1

9×0 3×1 0×2 6×1 8×0

(2) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんで、また、かけざんでたしかめなさい。

$\begin{array}{r} 11 \\ 8 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 42 \\ 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 31 \\ 7 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 58 \\ 6 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

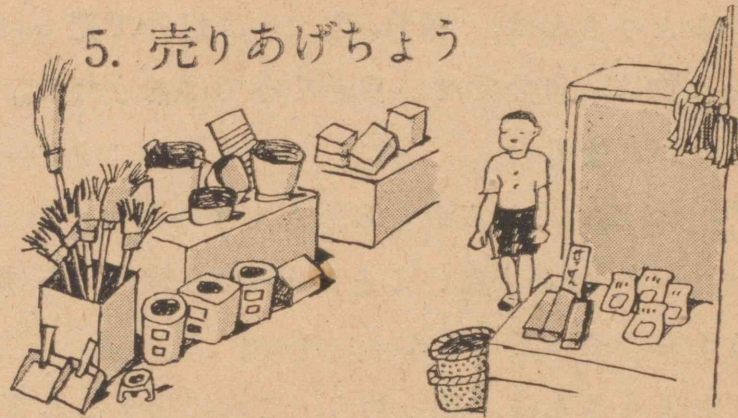
$\begin{array}{r} 218 \\ 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 147 \\ 5 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 250 \\ 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 106 \\ 9 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 329 \\ 2 \\ \hline \end{array}$
---	---	---	---	---

$\begin{array}{r} 9 \\ 75 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 68 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 190 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 127 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 319 \\ \hline \end{array}$
--	--	---	---	---

(3) 春子さんは、ノートのお金を、ひとり14円ずつあつめました。きょう、はんでもってきた人の数は、つぎのようでした。これを、表にまとめなさい。

一ばん…2 二ばん…3 三ばん…4 五ばん…1
六ばん…2 八ばん…4 四・七ばん…なし

5. 売りあげちょう



この单元では、店のおつだいをし、かけざんのれんしゅうをしたり、よせざんのだしかめかたや、売りあげちょうの書きかたなどについて、まなびましょう。

お店のおつだい

春子さんの家は、店屋でいろいろなしな物を売っています。

春子さんは、ときどき、お店のおつだいをします。きょうも、日曜日なので朝から、おつだいをしました。

おとうさんは、「春子、きょうは自分で売ったしな物は、自分でせいりしてみてもうだね。」といわれました。

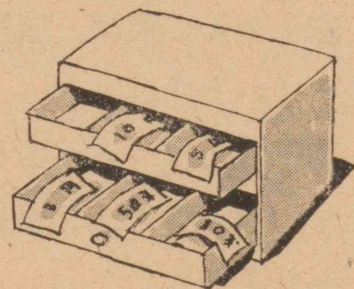
春子「私に、できるかしら、しんばいだわ。」

おとうさん「わからないことがあったら教えてあげるから、やっごらん。」

おとうさんは、「売ったら、これに書きこんでおくように。」と、下のような売りあげちょうの用紙を出して、「たとえば、マッチが二つ売れたら、こんなに書くのだよ。」と、書きかたのせつめいをしてくださいました。

しな物のなまえ	一つのねだん	かず	売りあげ高
マ ッ チ	200	2	400

そして、お金を入れるようにと、右のようなせいりばこをかしてくださいました。



その中には、おつ

りの用意に、お金が入れてありました。

春子さんがしらべてみると右のとおりでした。

(1) それぞれ何円ずつですか。

(2) あわせて何円ですか。

十円さつ	12(まい)
五円さつ	10
一円さつ	20
五十銭さつ	18
十銭さつ	10

おきゃくさん

おきゃくさんがきて、いろいろなしな物が売れていきます。

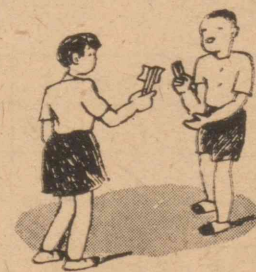
春子さんは、お金を受けとるときも、おつりを出すときも、まちがえないように気をつけて、一つ一つ売りあげちょうに、書き入れていきました。

「この7円のはぶらしを2本ください。」

「はい、□円いただきます。」

つぎのおきゃくさんは、

「マッチを三つと、せっけん



を一つください。」といわれました。

「はい、マッチは一つ2円で、せっけんは18円ですから、□円いただきます。」

そのおきゃくさんは、十円さつを3まい出されました。

春子さんは、おつりに、□円を1まいと□円を1まいわたしました。

つぎにきたおきゃくさんは、一つ1円50銭のせんたくばさみをさして、

「これを、五つください。」といわれました。

春子さんは、右のように計算して、

$$\begin{array}{r} 150 \\ \times 5 \\ \hline 750 \end{array}$$

「はい、ありがとうございます。□円□銭になります。」といって、しな物をわたして、お金を受けとり、紙に書き入れました。

しな物のなまえ	一つのねだん	かず	売りあげ高
はぶらし①	7.00	2	14.00
マ ッ チ	2.00	3	6.00
せっけん	18.00	1	18.00
せんたくばさみ	1.50	5	7.50

(1) □の中に、数を入れてごらん下さい。

(2) 下は、春子さんの書いた売りあげちょうの一ふぶんです。春子さんにかわって、売りあげ高のところを、書き入れなさい。

せっけん	18.00	2	
わりばし	40	6	
竹ぼうき	45.00	1	
はぶらし②	12.00	2	
マ ッ チ	2.00	5	

売りあげ高

春子さんは、夕ごはんのあとで、自分のあつかった売りあげ高のせいりをしました。

売りあげちょうから、ひろいだしてせいりすると、右の表のようでした。

春子さんは、一つ一つ

のしな物について、売りあげ高の計算をしました。

しな物	売れたかず
はぶらし① (7円)	11
はぶらし② (12円)	6
はみがきこ (10円)	8
マッチ (2円)	17
せっけん (18円)	5
せんたくばさみ (1.5円)	9
わりばし (40銭)	18
はしばこ (25円)	2
竹ぼうき (45円)	3
手ぼうき (120円)	1
うちわ (6.5円)	5
はたき (13円)	3
ちりとり (16円)	2

はぶらし④	はぶらし⑤	はみがきこ	マッチ	せっけん
7	12	10	2	18
×11	×6	×8	×17	×5
77	72	80	34	90

● 1,4のような、くりあがりの数を、これからはなるべく書かないで、できるようにしましょう。

春子さんは、売りあげちょうを、下のような表にまとめました。まちがいはないでしょうか。

しな物のなまえ	一つのねだん	かず	売りあげ高
はぶらし④	700	11	7700
はぶらし⑤	1200	6	7200
はみがきこ	1000	8	8000
マッチ	200	17	3400
せっけん	1800	5	9000
せんたくばさみ	150	9	1350
わりばし	40	18	720
はしはこ	2500	2	5000
竹ぼうき	4500	3	13500
手ぼうき	12000	1	12000
うちわ	650	5	3250
はたき	1300	3	3900
ちりとり	1600	2	3200

こんどは、売りあげ高の合計を計算しようと思いましたが、よせる数が多くてくしんしました。どうしたら、うまくできるでしょう。

7700
7200
8000
3400
9000
1350
720
5000
13500
12000
3250
3900
3200

263円

160円70

35850円

春子さんは、上から下までつづけてよせるより、四つか五つずつにくぎってよせる方が、たしかめもしやすくて、べんりだと気がついて、左のように計算しました。

円 銭
263
16070
+ 35850
78220

こんどは、下から上へ、じゅんじょをかえて

7700
7200
8000
3400
9000
1350
720
5000
13500
12000
3250
3900
3200

353円

205円70

223円50

円 銭
22350
20570
+ 353
78220

同じ金高になって、たしかめもできました。

春子さんは、きょうの売りあげ高は782円20銭であつたことがわかりました。

いくつもの数をよせるには、いくつかず
つにくぎって、よせるとべんりです。

また、答をたしかめるには、じゅんじょ
をかえてよせるとよい。

上のようなしかたで、下の金高のそれぞれの
合計を出し、答をたしかめなさい。

- (1) 63円 52円30銭 108円50銭 16円
80円60銭 8円20銭 34円70銭 40円
- (2) 108円 125円70銭 24円50銭 105円
79円30銭 40円60銭 21円 5銭 56円
54円25銭 8円45銭 30円60銭 124円

お金のせいり

春子さんは、売りあげ高の計算ができたので
こんどは、お金のせいりをすることにしました。

お金は、しゅるいべつに入れてありますので、
おつりを出すのにも、売りあげ高をしらべるの
にも、たいへんべんりでした。

しゅるい	かず	金	高
百円	2		
十円	62		
五円	21		
一円	43		
五十銭	26		
十銭	12		

せいりしたまいすうは、
左の表のとおりです。

金高は、それぞれいく
らになるか、表に書き入
れなさい。

あわせて、いくらになりますか。

こんどは、つぎのようにせいりしました。

(1) 十円さつを100円のたばにまとめました。
いくたばできたでしょう。

五円さつも、100円のたばにまとめました。
いくたばできたでしょう。

みんなで、いくたばできましたか。それは、
お金でいくらですか。

たばになっていない十円さつ、五円さつは、
あわせていくらですか。

(2) 百・十・五円の3
しゅるいのお金は、あわ
せて何円ですか。

百円さつで	200円
7たばで	700円
そのほかで	25円

(3) 一円、五十銭は、それぞれ10円のたばに

まとめました。いくたばずつできましたか。

たばになっていない一円いかのお金は、あわせて何円何銭ですか。

(4) 一円いかのお金の合計はいくらですか。

(5) 十銭さつから百円さつまでのお金は、ぜんぶで何円何銭になりますか。

(6) 前のページの表の合計とあいましたか。

また、59ページの計算の答と、いくらちがいましたか。ちがったのは、どうしてでしょう。

ま と め

この單元では、つぎのことをまなびました。

(1) 売りあげちょう、売りあげ高の書きかた。

(2) いくつもよせるときには、いくつかずつにくぎってよせるとべんりです。

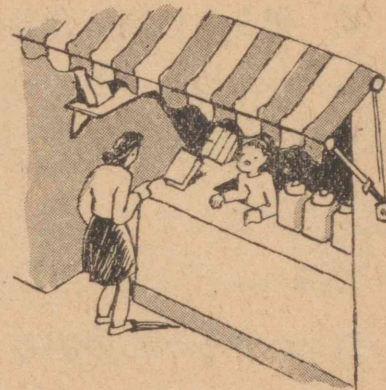
(3) よせざんの答は、じゅんじよをかえてよせて、たしかめることができる。

(4) お金を100円のたば、10円のたばなどにしてせいりする。

れんしゅう

(1) たけおくんの家は、おかし屋です。

下の表は、店のてつだいをして書きとめておいたものです。

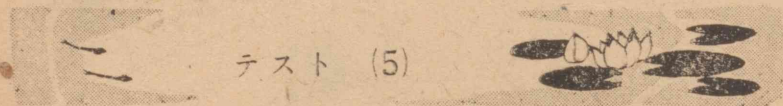


し な 物	ね だ ん	売 れ た 数
あ め	1こ 2円	10, 5, 3, 5, 2, 5, 10
あ め	〃 3円	3, 5, 2, 7, 2
あ め	〃 5円	2, 2, 3, 1, 4, 5, 2
キ ャ ラ メ ル	1はこ 20円	1, 2, 1, 1, 1
ゼ リ ー	1こ 7円	2, 3, 5, 2
チ ョ コ レ ー ト	〃 8円	3, 2, 1, 2
チ ュ ー イ ン ガ ム	1まい 5円	1, 2, 1
せ ん べ い	〃 1円	10, 5, 8, 5, 20, 5
も な か	1こ 10円	2, 5, 3, 2
よ う か ん (大)	1本 25円	1, 2, 1
〃 (小)	〃 15円	1, 1, 2, 1

たけおくんは、夕ごはんのあとで、56ページのような表にまとめました。

私たちも、表にまとめましょう。

(2) 売りあげ高の合計は、いくらになりましたか。いくつかずつにくぎってよせなさい。じゅんじょをかえて、たしかめましょう。



(1) かず子さんの店のきょうの売りあげは、つぎのようでした。

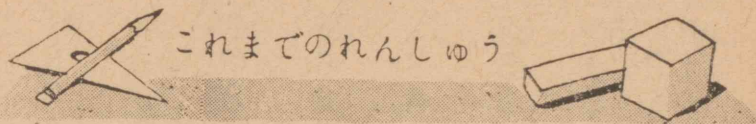
ノート(12円) …… 8さつ	ノート(7円50銭) …… 6さつ
けしごむ(3円50銭) …… 5こ	クレヨン(35円) …… 7はこ
えんぴつ(6円) …… 18本	えんぴつ(4円15銭) …… 9本
のり(14円) …… 4こ	インキ(55円) …… 2こ
物さし(8円70銭) …… 3本	そのほか …… 186円50銭

② これを、56 ページのような売りあげ高の表に書きなさい。

① 売りあげ高の合計は、いくらでしたか。

(2) つぎのよせざんをなさい。よせるじゅんをかえて、答をたしかめなさい。

<u>83</u>	<u>72</u>	<u>125</u>	<u>357</u>	<u>204</u>
<u>25</u>	<u>18</u>	<u>137</u>	<u>108</u>	<u>159</u>
<u>37</u>	<u>65</u>	<u>204</u>	<u>46</u>	<u>65</u>
<u>68</u>	<u>96</u>	<u>362</u>	<u>83</u>	<u>271</u>



(1) つぎのよせざんを、できるだけはやくなさい。下から上へよせて、答をたしかめなさい。何かいもれんしゅうして、かかった時間とまちがった数とを、表に書いて、せいせきをくらべましょう。

<u>3</u>	<u>4</u>	<u>8</u>	<u>1</u>	<u>9</u>	<u>8</u>	<u>4</u>	<u>5</u>
<u>8</u>	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>8</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>9</u>
<u>5</u>	<u>6</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>4</u>	<u>2</u>	<u>1</u>	<u>6</u>
<u>6</u>	<u>8</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>7</u>
<u>2</u>	<u>8</u>	<u>4</u>	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>5</u>	<u>4</u>
<u>4</u>	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	<u>9</u>
<u>6</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>6</u>	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>5</u>	<u>9</u>
<u>8</u>	<u>6</u>	<u>1</u>	<u>5</u>	<u>8</u>	<u>5</u>	<u>4</u>	<u>3</u>
<u>3</u>	<u>9</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>8</u>	<u>1</u>

(2) つぎは、いちばん上の数から、その下の数をじゅんにひきなさい。時間とまちがった数とを表に書き、せいせきをくらべましょう。

<u>23</u>	<u>30</u>	<u>40</u>	<u>52</u>	<u>61</u>	<u>45</u>	<u>36</u>	<u>27</u>
<u>6</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>7</u>	<u>8</u>	<u>3</u>	<u>9</u>	<u>8</u>
<u>8</u>	<u>7</u>	<u>2</u>	<u>5</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>8</u>	<u>6</u>

40	50	63	72	36	56	38	41
<u>1</u>	<u>2</u>	<u>5</u>	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>2</u>	<u>3</u>
<u>5</u>	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>8</u>	<u>9</u>	<u>5</u>
<u>9</u>	<u>8</u>	<u>2</u>	<u>8</u>	<u>7</u>	<u>3</u>	<u>5</u>	<u>6</u>
<u>6</u>	<u>7</u>	<u>9</u>	<u>8</u>	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>4</u>	<u>2</u>

(3) つぎの□に、あてはまる数を入れなさい。

$$16 \times 3 = 3 \times \square \quad 24 \times 1 = 1 \times \square \quad 45 \times 7 = 7 \times \square$$

$$\square \times 8 = 16 \quad 9 \times \square = 0 \quad \square \times 1 = 3$$

$$21 \times \square = 0 \quad 35 \times \square = 35 \quad \square \times 14 = 0$$

(4) つぎのかけざんをなさい。答を、よせざんでたしかめなさい。また、かけざんでもたしかめましょう。

$\begin{array}{r} 94 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 79 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 55 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 26 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 14 \end{array}$
--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 273 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 159 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 107 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 163 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 136 \end{array}$
---	---	---	---	---

☆ つぎのかけざんをなさい。

$\begin{array}{r} 7 \\ 67 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 43 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 56 \end{array}$	$\begin{array}{r} 69 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 58 \\ 4 \end{array}$
--	--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 2 \\ 319 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 230 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 315 \end{array}$	$\begin{array}{r} 104 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 140 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 152 \\ 5 \end{array}$
---	---	---	---	---	---

(5) 下の表は、たけおくんの五月のこづかいちょうです。

月日	ことから	はいた金	だした金	のこつた金
5/1	四月ののこり	1750		1750
" 2	えんぴつ2本		1200	550
" 5	おとうさんから	10000		10550
" 6	工作の色紙		450	10100
" "	クレヨン		3500	6600
" 13	えいがか		2000	4600
" "	電車ちん		1600	3000
" 17	おかあさんから	5000		8000
" 18	ノート3つ		2250	5750
" "	けしゴム		350	5400
" 25	ざつし		2500	2900
" 29	がようし		600	2300

② もらったお金は、どれだけでしたか。

③ 学用品にいくら使いましたか。そのほかのものに、いくら使いましたか。

どちらに、いくら多く使いましたか。

④ みんなで、いくら使ったでしょう。

私たちも、こづかいちょうをつけて、むだづかいのないように、気をつけましょう。



しあげテスト (2)



(1) つぎのかけざんをなさい。答を、たしかめなさい。

$\begin{array}{r} 192 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 387 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 158 \\ \underline{4} \end{array}$	$\begin{array}{r} 103 \\ \underline{7} \end{array}$	$\begin{array}{r} 124 \\ \underline{5} \end{array}$
$\begin{array}{r} 8 \\ 16 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 68 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 77 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 84 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 43 \end{array}$

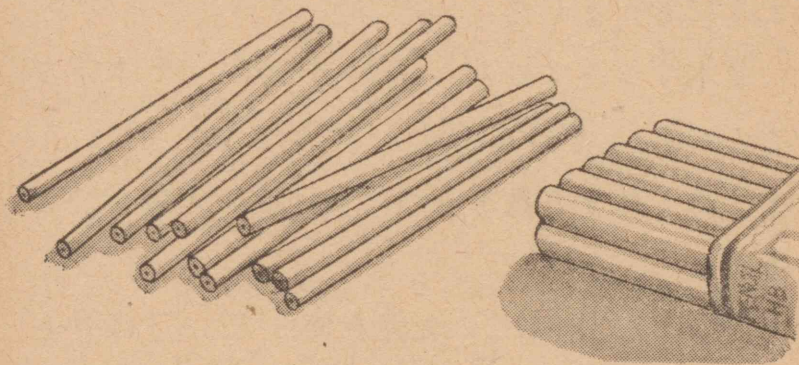
(2) ひろしくんは、五月二日におとうさんから150円、二十日におかあさんから100円もらいました。四月ののこりは、14円50銭でした。

ひろしくんが、五月中に使ったお金は、右のとおりでした。

これを、前のページのようなこづかいちょうに書きなさい。

日	買ったしな物
3	学校の本だい 92円60銭
5	4円15銭のえんぴつ 3本
"	23円80銭の三角定木
13	電車ちん 10円
21	7円50銭のノート 2さつ
23	25円のぎっし
26	はがき5まい
29	60円のボール

6. えんぴつのわけかた



この单元では、えんぴつを同じ数ずつ、何人かにわけるときは、どうしたらよいかを考えて、わりざんのしかたをまなびましょう。

えんぴつ

しげるくんは、おじさんからえんぴつを2ダースいただきました。きょうだい3人で同じ数ずつわけるように、おとうさんからいわれました。ひとりが何本ずつになるでしょう。

しげるくんは、2ダースは24本、この24本を何本ずつにわけたらよいかと思って、つぎのように考えました。

2本ずつとすると、 $2 \times 3 = 6$ 6本いることから、 $\square \times 3 = 24$ のちょうど□に、うまくあてはまる数をみつければよいと気がつきました。

「三八 二十四」の九九を使って、□は8とすればよいから、8本ずつになるとわかりました。

24を同じように三つにわけることを、右のように書いて、「24わる3」とよみます。

$$24 \div 3$$

$24 \div 3$ を計算するときには、「三八 二十四」という九九を使います。

24を3でわると8になることを、

$$24 \div 3 = 8 \quad \text{と書いて、}$$

「24わる3は、8」とよみます。

$24 \div 3$ を、右のようにも書きます。このような計算を、「わりざん」といいます。

$$\begin{array}{r} 8 \\ 3 \overline{)24} \end{array}$$

● 3をわる数、24をわられる数といいます。答の8を4の上に書きます。

(1) 45を5でわることを、どう書きますか。ふたとおり、書きなさい。

(2) つぎの□に、あてはまる数を入れなさい。

$$7 \times \square = 14 \quad 4 \times \square = 24 \quad 5 \times \square = 45$$

$$\square \times 3 = 18 \quad \square \times 8 = 56 \quad \square \times 2 = 10$$

(3) つぎのわりざんをよみなさい。答をみつけるには、どの九九を使いますか。

$$16 \div 2 \quad 12 \div 4 \quad 20 \div 5 \quad 18 \div 3$$

$$24 \div 6 \quad 40 \div 8 \quad 63 \div 7 \quad 27 \div 9$$

(4) つぎのわりざんをなさい。

$$8 \overline{)24} \quad 2 \overline{)18} \quad 6 \overline{)30} \quad 7 \overline{)21}$$

$$3 \overline{)27} \quad 9 \overline{)36} \quad 2 \overline{)10} \quad 6 \overline{)12}$$

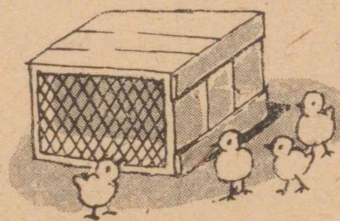
$$7 \overline{)49} \quad 8 \overline{)48} \quad 5 \overline{)40} \quad 4 \overline{)20}$$

わりざんの二つのばあい

えんぴつ24本を、3人に同じ数ずつ分けると、
ひとりが何本ずつになるかという問題は、
 $24 \div 3$ として計算しました。

えんぴつ24本を、ひとりに3本ずつ分けると、
何人に分けられるかという問題も、
 $24 \div 3$ のわりざんで計算します。

(1) ひよこが18わ
います。同じ数にわ
けて、二つのはこに
入れると、一つのは
こは、何ばずつになり
ますか。



(2) ひよこが18わいます。一つのはこに、2
わずつ入れると、はこがいくついらいますか。

(3) こどもが27人います。一つのボードに3
人ずつのると、ボードがいくついらいますか。

(4) 27人が、3組にわかれてリレーをします。
何人ずつにわかれたらよいでしょう。

わりざんには、つぎの二つのばあいがあります。

Ⓐ ある数を、同じように分けると、
いくつずつにわけられるか。

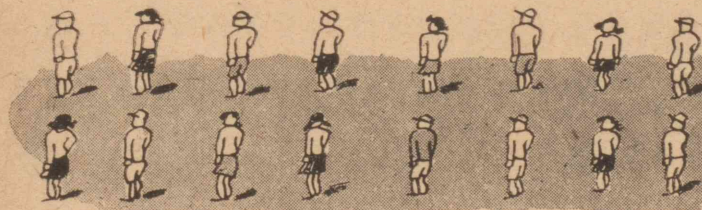
Ⓑ 二つの数があつて、一方の数の中に、
もう一方の数が、
いくつふくまれているか。

(5) 前のページの(1)―(4)で、Ⓐにあたるのは
どれですか。Ⓑにあたるのはどれですか。

(6) $36 \div 4$ となるような、Ⓐにあたる問題を
作りなさい。Ⓑにあたる問題を作りなさい。

ならびかた

しげるくんたちの組は48人です。ふつう2列
にならびます。



べんきょうがはじまりますと、先生は、
「きょうは、みなさんがまい日やっていること
で、わりさんの問題を考えてみましょう。」

この組の人数は48人で、2列にならびますね。
1列は何人ずつになるでしょう。」
と、問題をお出しになりました。

しげるくんたちは、まい日ならんでいるので
すが、1列が何人だったかおぼえていません。

先生「わりさんではどうすればよいでしょう。
しげる「48わる2です。」

先生「そうですね。みなさん、答を出してご
らんなさい。」

みんなは、九九を使うだけでは、すぐに答が
みつかりません。

先生「48は、40たす8で、40を2でわるこ
とや8を2でわることは、できるでしょう。」

道子「40わる2は20、8わる2は4となります。」

先生「そうです。そうすると、答はいくらに
なりますか。」

みねお「24となります。」

先生は、 $48 \div 2$ は、つぎのよ
うに考えるとよいとせつめいし
ながら右のようにお書きになり
ました。

$\begin{array}{r} 2 \\ 2 \overline{)48} \end{array}$	㉑
$\begin{array}{r} 24 \\ 2 \overline{)48} \end{array}$	㉒

㉑ 48は40たす8で、40を2でわると、20
となり、十の位に2と書く。

㉒ つぎに、8を2でわると4となり、一の
位に4と書く。

答は、24人となります。

先生「みなさんは、ときどき、4列にならびま
すね。そうすると、1列に何人ず
つならぶことになるでしょう。」

$\begin{array}{r} 1 \\ 4 \overline{)48} \end{array}$	㉓
$\begin{array}{r} 12 \\ 4 \overline{)48} \end{array}$	㉔

私たちも、右の㉓㉔を見て
考えましょう

つぎのわりざんをなさい。

$$16 \div 2 \quad 81 \div 9 \quad 42 \div 7 \quad 32 \div 4$$

$$10 \div 5 \quad 42 \div 6 \quad 64 \div 8 \quad 21 \div 3$$

$$2 \overline{)24} \quad 5 \overline{)55} \quad 8 \overline{)88} \quad 3 \overline{)96}$$

$$3 \overline{)63} \quad 2 \overline{)68} \quad 4 \overline{)84} \quad 7 \overline{)77}$$

先生「3列にならんだら、1列は、何人ずつならぶことになるでしょう。」



みんなは、ノートに、

$$3 \overline{)48}$$

と書いて、答をみつけようとしたが、4が3でうまくわれなくてこまっています。

先生「みなさん、こまっているようですね。」

このわりざんをする前に、つぎのようなわりざんを考えてみましょう。」

といって、こくばんに、つぎのようなわりざん

を書かれました。

$$3 \overline{)4} \quad 4 \overline{)11} \quad 2 \overline{)7}$$

先生は、 $4 \div 3$ は、つぎのように考えるとよいとせつめいしながら、右のように書かれました。

①	②
$3 \overline{)4}$	$3 \overline{)4} \begin{array}{r} 1 \\ 3 \\ \hline 1 \end{array}$

① 4の中に3は1ぺんあるから、一の位に1と書く。

② $1 \times 3 = 3$ の3を4の下に書き、4から3をひいて、1あまる。

答は、1あまり1となる。

右を見て、わりざん
のしかたを考えましょう。

$$4 \overline{)11} \begin{array}{r} 2 \\ 8 \\ \hline 3 \end{array} \quad 2 \overline{)7} \begin{array}{r} 3 \\ 6 \\ \hline 1 \end{array}$$

● あまりは、わるかずより小さいことに、ちゅういしましょう

つぎのわりざんをなさい。

$$2 \overline{)9} \quad 3 \overline{)10} \quad 4 \overline{)7} \quad 5 \overline{)22} \quad 6 \overline{)39}$$

$$7 \overline{)50} \quad 8 \overline{)49} \quad 7 \overline{)75} \quad 8 \overline{)44} \quad 7 \overline{)65}$$

3から29までの数を3でわると、下のようです。

$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 3} \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 6} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 3 \overline{) 9} \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 3 \overline{) 12} \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 3 \overline{) 15} \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 3 \overline{) 18} \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 3 \overline{) 21} \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 3 \overline{) 24} \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 3 \overline{) 27} \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$
$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 4} \\ \underline{3} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 7} \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 3 \overline{) 10} \\ \underline{9} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 3 \overline{) 13} \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 3 \overline{) 16} \\ \underline{15} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 3 \overline{) 19} \\ \underline{18} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 3 \overline{) 22} \\ \underline{21} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 3 \overline{) 25} \\ \underline{24} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 3 \overline{) 28} \\ \underline{27} \\ 1 \end{array}$
$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 5} \\ \underline{3} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 8} \\ \underline{6} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 3 \overline{) 11} \\ \underline{9} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 3 \overline{) 14} \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 3 \overline{) 17} \\ \underline{15} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 3 \overline{) 20} \\ \underline{18} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 3 \overline{) 23} \\ \underline{21} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 3 \overline{) 26} \\ \underline{24} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 3 \overline{) 29} \\ \underline{27} \\ 2 \end{array}$

4から39までの数を4でわるわりざんを上の方のように書きなさい。

先生は $48 \div 3$ は、つぎのように考えるとよいとせつめいしながら、右のように、こくばんに書かれました。

㉑ 48は40たす8である。40の十の位の4を3でわると、十の位に1がたつ。十の位に1と書く。

㉒ 1×3 の3を、4の下に書き、4から3をひいて1を書く。この1は10のことである。

㉓ この1の右に、一の位の8を

㉑ $\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 48} \end{array}$

㉒ $\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 48} \\ \underline{3} \\ 1 \end{array}$

㉓ $\begin{array}{r} 16 \\ 3 \overline{) 48} \\ \underline{3} \\ 18 \end{array}$

㉔ $\begin{array}{r} 16 \\ 3 \overline{) 48} \\ \underline{3} \\ 18 \\ \underline{18} \end{array}$

書いて18とする。18を3でわって6。6を一の位に書く。

㉕ 6×3 の18を前の18の下に書く。

答は16となる。このわりざんはなれたら、㉖㉗のように書いた方がよい。

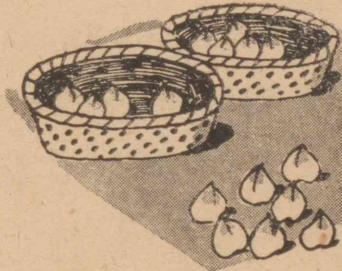
㉖ $\begin{array}{r} 16 \\ 3 \overline{) 48} \\ \underline{3} \end{array}$	㉗ $\begin{array}{r} 16 \\ 3 \overline{) 48} \end{array}$
---	--

● わりざんも、ほかの計算と同じように、数字をたてにきちんとかさねて書くように気をつけましょう。

(1) ももを34とりま

した。二つのかごに同じ数ずつわけて入れます。

いくつずつ入れたらよいでしょう。



(2) つぎのわりざんをなさい。

$2 \overline{) 94}$ $8 \overline{) 96}$ $5 \overline{) 60}$ $3 \overline{) 87}$ $4 \overline{) 56}$ $3 \overline{) 81}$

$7 \overline{) 98}$ $6 \overline{) 96}$ $5 \overline{) 65}$ $2 \overline{) 74}$ $6 \overline{) 84}$ $4 \overline{) 68}$

☆ $4 \overline{) 88}$ $2 \overline{) 28}$ $6 \overline{) 66}$ $3 \overline{) 39}$ $7 \overline{) 70}$

$3 \overline{) 42}$ $2 \overline{) 30}$ $2 \overline{) 92}$ $2 \overline{) 36}$ $3 \overline{) 78}$

$3 \overline{) 51}$ $4 \overline{) 80}$ $7 \overline{) 84}$ $6 \overline{) 72}$ $5 \overline{) 75}$

しげるくんの考え

しげるくんは、よせざんやかけざんのたしかめかたは、前にまなんでしています。

わりざんのたしかめかたは、どうしたらよいだろうと考えました。

㉔ えんぴつ 24 本を、3 人に同じ数ずつ分けると、ひとりには、 $24 \div 3 = 8$ 8 本となる。

㉕ えんぴつを、ひとりに 8 本ずつあげると、3 人では、 $8 \times 3 = 24$ 24 本いる。

しげるくんは、上の ㉔ ㉕ を見て $24 \div 3 = 8$ のようなわりざんのたしかめかたは、答の 8 を 3 ばいして、24 になればよいだろうと思いました。また、 $8 \times 3 = 3 \times 8$ だから、3 を 8 ばいしてもたしかめられると思いました。

しげるくんは、じぶんのみつけた、たしかめかたを、 $48 \div 2 = 24$

$48 \div 3 = 16$ にあてはめてみました。

$\begin{array}{r} 24 \\ \times 2 \\ \hline 48 \end{array}$	$\begin{array}{r} 16 \\ \times 3 \\ \hline 48 \end{array}$
--	--

かけざんをして、48 になりました。

しげるくんは、じぶんでみつけた、たしかめかたでよいと、じしんができました。

先生に話すと、「そのとおりです。よくみつけましたね。」とほめてくださいました。

わりざんの答をたしかめるには、答にわる数をかけるか、わる数に答をかけるかして、そのかけた数が、わられる数になればよい。

(1) つぎのわりざんをなさい。答を、たしかめなさい。

$$2 \overline{)54} \quad 9 \overline{)99} \quad 3 \overline{)84} \quad 5 \overline{)85} \quad 2 \overline{)72}$$

$$6 \overline{)90} \quad 3 \overline{)75} \quad 7 \overline{)91} \quad 4 \overline{)76} \quad 8 \overline{)96}$$

(2) つぎのわりざんの答を、かけざんでたしかめなさい。まちがったのはありませんか。

$$62 \div 2 = 31 \quad 93 \div 3 = 21 \quad 84 \div 7 = 14$$

$$70 \div 5 = 16 \quad 78 \div 6 = 13 \quad 64 \div 4 = 16$$

ま と め

この单元では、つぎのことをまなびました。

- (1) 24を同じように三つにわけるとき、 $24 \div 3$ と書く。また、 $3 \overline{)24}$ とも書く。
- (2) $24 \div 3 = 8$ を「24わる3は8」とよむ。
- (3) 24を同じように三つにわけるときも、24の中に3がいくつあるかということも、 $24 \div 3$ のわりざんが使われる。
- (4) $4 \overline{)48}$ $3 \overline{)48}$ のようなわりざんのしかた。
- (5) $3 \overline{)4}$ $2 \overline{)7}$ のようなあまりのあるわりざん。
- (6) わりざんの答は、かけざんでたしかめることができる。

れんしゅう

(1) つぎのわりざんをなさい。答を、かけざんでたしかめなさい。

$20 \div 4$	$27 \div 9$	$28 \div 7$	$56 \div 8$
$90 \div 2$	$57 \div 3$	$95 \div 5$	$75 \div 3$
$8 \overline{)88}$	$6 \overline{)96}$	$5 \overline{)65}$	$4 \overline{)72}$

(2) つぎのわりざんの答を、かけざんでたしかめて、まちがいをみつけなさい。

$46 \div 2 = 23$ $72 \div 8 = 9$ $55 \div 5 = 15$

$84 \div 3 = 26$ $56 \div 4 = 14$ $90 \div 6 = 15$

(3) つぎのわりざんは、あまりもだしなさい。

$2 \overline{)9}$ $6 \overline{)10}$ $3 \overline{)23}$ $4 \overline{)19}$ $2 \overline{)17}$

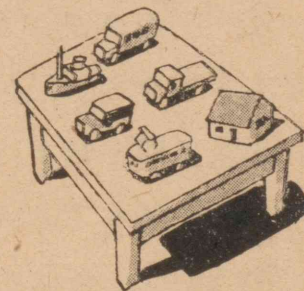
$5 \overline{)13}$ $7 \overline{)25}$ $4 \overline{)38}$ $8 \overline{)14}$ $9 \overline{)68}$

(4) 道子さんたちの組は48人です。えと、工作のてんらん会をすることになりました。

えは、ひとりが2まいずつ書き、工作は一つずつ作りしました。

えは、みんなで何まいかけましたか。工作は、いくつできましたか。

(5) 工作は、一つのつくえに六つずつならべると、つくえがいくついらいますか。



(6) えは、教室のかべにはることにします。たてに4まいずつはると、よこに何まいずつはればよいでしょう。



テスト (6)



(1) 84を4でわることを、どう書きますか。
ふたとおり、書きなさい。

(2) つぎのわりさんの答を、かけざんでたしかめて、まちがいをみつけなさい。

$56 \div 7 = 8$ $93 \div 3 = 23$ $81 \div 3 = 27$

$75 \div 5 = 13$ $54 \div 2 = 27$ $60 \div 4 = 15$

(3) つぎのわりさんをなさい。答を、たしかめなさい。

$18 \div 3$ $44 \div 2$ $5 \overline{)30}$ $2 \overline{)66}$ $3 \overline{)45}$

$88 \div 8$ $78 \div 6$ $4 \overline{)76}$ $6 \overline{)72}$ $7 \overline{)98}$

(4) えんぴつが5ダースあります。ひとりに4本ずつやると、何人にやれますか。

4人に同じ数ずつやると、ひとりぶんは、何本ずつになるでしょう。

(5) 私は、おはじきを100もっていました。50のこして、あとを妹と弟に、同じ数ずつわけてやりました。いくつずつやれたでしょう。

7. たなばたのかざり

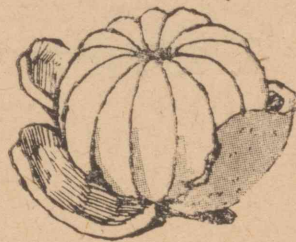


この單元では、るすばんをしながらたなばたのかざりを作って、正方形・長方形の形や、分数についてまなびましょう。

おるすばん

たんばの草とりがいそがしいので、やすおくんは、妹のきぬ子さんと、弟のひさおくんとるすばんをしました。

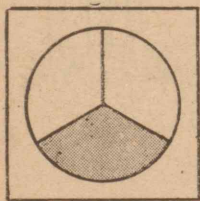
おかあさんは、でかける前、3人でなかよくわけなさいといって、なつみかんを一つくださいました。



やすおくんが、かわをむくと、ふくろが12ありました。

やすおくんは、どんなにわけたでしょう。

$$\square \times 3 = 12$$



ぜんたいを、三つの同じ大きさにわけたとき、その一つを「**三分の一**」といってこれを、 $\frac{1}{3}$ と書きます。

$\frac{1}{3}$ のような数を分数といい、せんの下の数を分母、上の数を分子といいます。

$\frac{1}{3}$ の書きかた $\frac{1}{3} \rightarrow \frac{1}{3} \rightarrow \frac{1}{3}$

(1) やすおくんのぶんは、何分の一ですか。

きぬ子さん、ひさおくんのぶんは、それぞれ何分の一でしょう

(2) 一つを同じように三つにわけたとき、二つぶんは、何分のいくつといえましょう。

(3) やすおくんときぬ子さんのぶんは、あわせて何分のいくつですか。

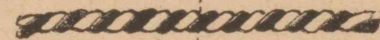
$\frac{1}{3} + \frac{1}{3}$ は、いくらですか。

(4) $\frac{1}{3} + \frac{1}{3} + \frac{1}{3}$ は、いくらになるでしょう。

前のページの図を見て考えなさい。

(5) 赤と白でよっ

たきれいなひもが一



本ありました。ふたりがほしいといたので、やすおくんは、はしをそろえて二つにおり、おりめから切ってふたりにやりました。

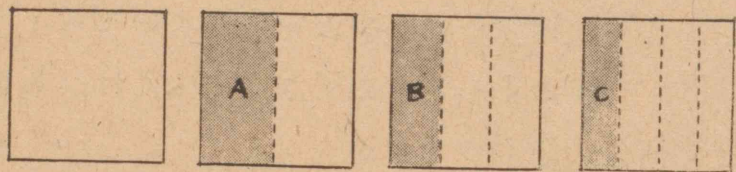
それぞれ、何分の一ずつになりますか。

たんざく作り

たなばたまつりは、もうすぐなので、やすおくんたちは、そのかざりを作ることにしました。

やすおくんは、色紙を二つおりや三つおりや四つおりにして、つぎのようにいろいろな大き

きのたんざくを作りました。



きぬ子さんは、はさみでおりめをじょうずに切って、てつだいをしました。

(1) ④, ③, ②は、それぞれもとの色紙の何分のいくつといえましょう。

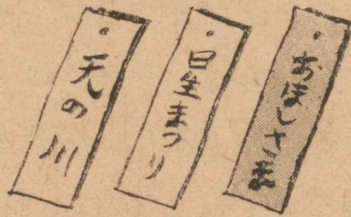
(2) $\frac{1}{2} + \frac{1}{2}$ は、いくらでしょう。

(3) $\frac{1}{4} + \frac{1}{4}$ は、四分のいくつですか。

(4) $\frac{1}{2}$, $\frac{1}{3}$, $\frac{1}{4}$ を、大きさのじゅんにいなさい。

(5) $\frac{1}{2}$ と $\frac{2}{4}$ との大きさをくらべなさい。

たんざくがたくさんできました。字を書き入れたり、ひもとおすあなをあけたりしました。かざりができて、大よろこびです。



形のけんきゅう

やすおくんは、物さしと三角定木を使って、④③②のたんざくの形をしらべてみました。

どのたんざくも、角はみんな直角でした。

また、どのたんざくもむかいあったせんのは同じでした。

こんどは、切らないままの色紙についてしらべてみました。

角はどれも直角で、まわりのせんは四つとも、同じ長さであることがわかりました。

長四角をちようほうけい長方形、ま四角をせいほうけい正方形といいます。

やすおくんは、つぎのことがわかりました。

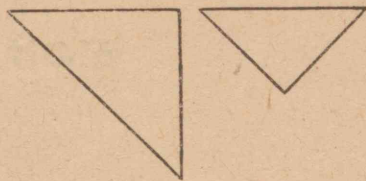
● 長方形 ① 角はみんな直角である。

② ふたくみのむきあっているせんは、それぞれ同じ長さである。

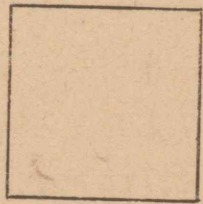
● 正方形 ① 角はみんな直角である。

② まわりのせんは4本とも同じ長さである。

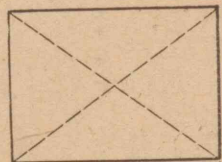
正方形の色紙を、図のように1かいおりました。もとの何分の一大ききになりましたか。



もう1かいおりました。もとの何分の一になりましたか。

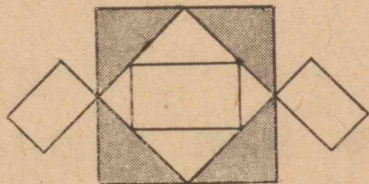


(2) 長方形を書いて、図のように、ななめのせん(たい角せんという)を2本ひきなさい。たい角せんの長さをくらべなさい。

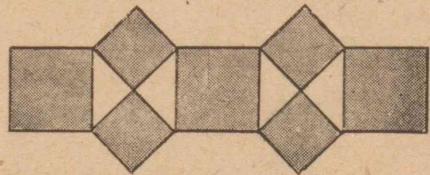


正方形では、たい角せんの長さは、どうでしょう。

(3) 正方形・長方形で、右のようなもようを作りました。私たちが書いてみましょう。

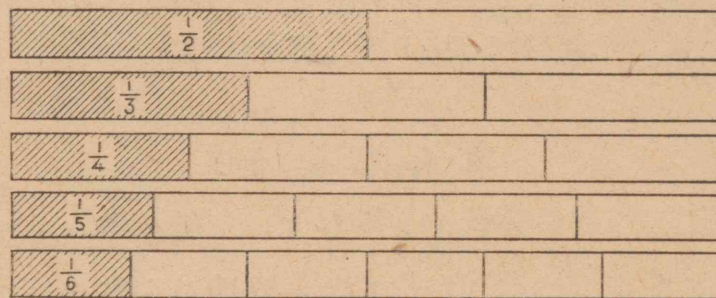


ほかのもようも考えてごらん下さい。



分数の大きさをくらべ

はんぶんのことを $\frac{1}{2}$, 同じように四つにわけた三つを $\frac{3}{4}$ といいます。 $\frac{1}{2}$, $\frac{3}{4}$ など一つの数で、このような数を「分数」といいます。



- (1) $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ とは、どちらが大きいでしょう。
- (2) $\frac{2}{3}$ を図であらわしてみましょう。
- (3) $\frac{4}{5}$ を図であらわしてみましょう。
- (4) 上の図を見て、 $\frac{1}{2}$ と $\frac{2}{4}$ とが同じであることをたしかめましょう。
- (5) 上の図を見て、 $\frac{1}{2}$ と同じ大きさの分数はなにとなにですか。 $\frac{1}{3}$ と同じ分数はなにとなにですか。
- (6) 上の図を見て、つぎの分数を大きいじゅんにならべなさい。 $\frac{1}{2}, \frac{3}{5}, \frac{3}{4}, \frac{4}{6}, \frac{2}{3}$

ま と め

この単元では、つぎのことをまなびました。

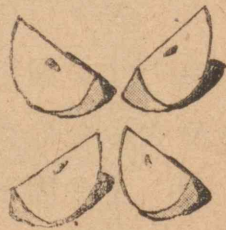
- (1) 正方形、長方形は、どんな形であるか。
- (2) $\frac{1}{2}$, $\frac{1}{3}$ のような数を、「分数」という。
- (3) 分数のよみかたと書きかた。

れんしゅう

(1) つぎの分数をよみなさい。図を書いて大きさをくらべなさい。大きい分数から書きなさい。

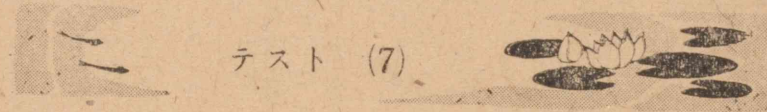
$$\frac{1}{4}, \frac{2}{5}, \frac{1}{3}, \frac{3}{6}$$

(2) おかあさんは、りんごを四つにわって、その二つを私にくださいました。私は、どれだけもらったといえましょう。



(3) たて8cm, よこ6cmの長方形を書きなさい。たい角せんの長さを、はかりなさい。

(4) (3)の長方形で、6cmの方のせんを1cmと5cmにわけて、そこからたてにせんをひいて、長方形を二つ作りましょう。ひろい方の長方形は、もとの長方形の何分のいくつですか。

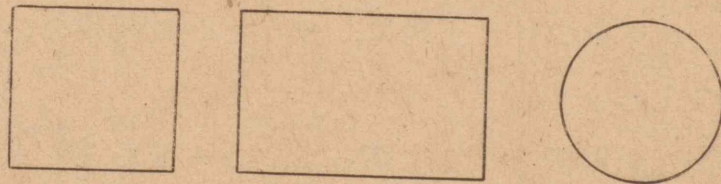


(1) つぎの分数を、 $\frac{1}{2}$ のように書きなさい。

三分の一, 五分の二, 六分の二

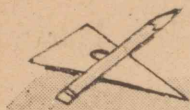
(2) 図を書いて、上の分数の大きさをくらべなさい。

(3) つぎの形の $\frac{1}{2}$ を、図に書き入れなさい。

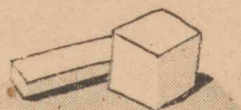


また、 $\frac{1}{4}$ を図に書き入れなさい。

(4) まわりが16cmの正方形を書き、たてにせんをひいて、一方がせんたいの $\frac{1}{4}$ になるようにしたいのです。どこで、せんをひけばよいでしょう。



これまでのれんしゅう

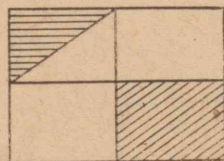


(1) つぎの分数は、どちらが大きいでしょう。

図を書いてくらべなさい。

$\frac{2}{3}$ と $\frac{1}{3}$ $\frac{2}{4}$ と $\frac{3}{4}$ $\frac{1}{2}$ と $\frac{3}{6}$ $\frac{1}{3}$ と $\frac{1}{4}$

(2) 長方形の紙を、図のように、ちょうどまん中で、たてよこにせんをひいてわけます。かげをつけた長方形は、ぜんたいの何分の一ですか。



☆ かげをつけた三角は、ぜんたいの何分のいくつでしょう。

(3) が用紙を八つに切って、カードを 80 まい作りたと思います。が用紙が何まいあればよいでしょう。が用紙 5 まいで作るには、1 まいをいくつに切ればよいでしょう。

(4) つぎの□に、あてはまる数を入れなさい。

$36 + \square = 52$ $\square - 21 = 34$ $57 - \square = 18$

$8 \times \square = 480$ $\square \times 6 = 240$ $5 \times \square = 300$
 $42 \div \square = 7$ $64 \div 4 = \square$ $72 \div 2 = \square$

(5) つぎのかけざんをなさい。

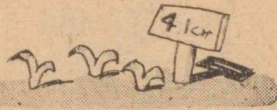
$\begin{array}{r} 12 \\ \underline{7} \end{array}$	$\begin{array}{r} 19 \\ \underline{5} \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 29 \\ \underline{9} \end{array}$	$\begin{array}{r} 16 \\ \underline{6} \end{array}$
$\begin{array}{r} 104 \\ \underline{8} \end{array}$	$\begin{array}{r} 218 \\ \underline{3} \end{array}$	$\begin{array}{r} 325 \\ \underline{2} \end{array}$	$\begin{array}{r} 106 \\ \underline{5} \end{array}$	$\begin{array}{r} 115 \\ \underline{4} \end{array}$

(6) つぎのわりざんをなさい。何かいもれんしゅうして、かかった時間とまちがいの数とを表に書いて、せいせきをくらべましょう。

$14 \div 2$	$27 \div 3$	$12 \div 3$	$49 \div 7$
$40 \div 5$	$15 \div 3$	$18 \div 6$	$12 \div 4$
$56 \div 7$	$32 \div 8$	$16 \div 4$	$20 \div 5$
$54 \div 9$	$36 \div 4$	$25 \div 5$	$64 \div 8$
$21 \div 3$	$35 \div 7$	$45 \div 9$	$24 \div 6$
$86 \div 2$	$33 \div 3$	$96 \div 3$	$77 \div 7$
$28 \div 2$	$92 \div 4$	$38 \div 2$	$94 \div 2$
$2 \overline{)50}$	$3 \overline{)48}$	$2 \overline{)58}$	$4 \overline{)52}$
$2 \overline{)70}$	$5 \overline{)90}$	$3 \overline{)81}$	$6 \overline{)84}$
$7 \overline{)84}$	$6 \overline{)78}$	$8 \overline{)80}$	$5 \overline{)70}$

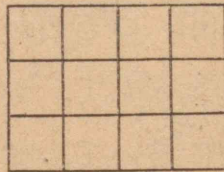
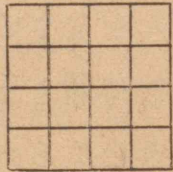
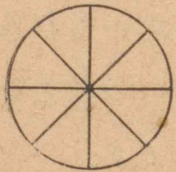


しあげテスト (3)



(1) 1 と $\frac{4}{5}$, $\frac{2}{3}$ と $\frac{2}{4}$ では, それぞれどちらが大きいでしょう。図を書いて考えなさい。

(2) つぎの円・正方形・長方形で $\frac{1}{4}$ だけに, 色をぬりなさい。(いろいろのしかたを考えてみなさい。)



(3) 生徒が 48 人で長いすを, はこびました。生徒は 4 人がかりで一つずつはこび, 先生はべつに一つはこばれました。

長いすを, いくつはこぶことができましたか。

(4) この長いす一つに, 5 人ずつこしかけると, みんなで何人かけられますか。

(5) つぎのわりざんをなさい。答を, たしかめなさい。

$$36 \div 6 \quad 24 \div 3 \quad 4 \overline{)64} \quad 3 \overline{)54} \quad 7 \overline{)91}$$

$$63 \div 7 \quad 72 \div 9 \quad 2 \overline{)56} \quad 9 \overline{)99} \quad 8 \overline{)96}$$

8. 村の人口



みなさんの町や村は, どのようにかわってきていますか。この單元では, 村の人口のうつりかわりをしらべながら, 大きな数のよせざん・ひきざんや, 人口をやく何人といういいかたなどについてまなびましょう。

ぶらくの人数

夕ごはんのあとのたのしい話しあいのとき, おとなり, 赤ちゃんの生まれた話しができました。

みのも「あちらこちらに赤ちゃんが生まれるので, ぶらくの人数もふえるでしょうね。」

父 「でも、ふえるばかりとはかぎらないよ。まもるくんの家のように、とかいに出ていく人もあるからね。」

母 「そう、一時は、このぶらくにも、たくさんの方がそかいしてきて、にぎやかでしたね。」

みのる 「今、このぶらくの人数は何人ぐらいですか。」

父 「さあ、400人ぐらいかな。この表を見てごらん。」

とって、おとうさんは、きょ年の十月にしらべた表を見せてくださいました。

その表で見ると、みのるくんのぶらくの平井は、407人でした。

みのるくんは、今の平井ぶらくの人数が何人かをしらべてみようと思いました。

あくる日、ぶらくの同級生と話しあって、めいめいの家の近所を、てわけしてしらべました。

しらべた人	家数	男	女
みのる	13	36	38
秋子	14	39	40
あきら	9	25	23
ひろむ	11	32	33
すみ子	17	45	44
つる子	10	27	29

みのるくんたちが一けん一けん、たずねて、しらべたのは、右のようでした。

- (1) 家数は、みんなで何げんですか。
- (2) 男は何人で、女は何人でしょう。
- (3) 男女あわせて、何人ですか。
- (4) きょ年の十月しらべの表は、407人でした。何人ふえましたか。

村の人口

みのるくんは、こんどは、村ぜんたいの人口がどのくらいか、しらべてみたくなりました。

てわけして、一けん一けんしらべてみても、わかりませんが、おとうさんの表から計算してみることになりました。

横山村の人口 (昭和25年10月1日)

ぶらく	平井	上大島	下大島	万石	北本田	南本田	横屋	高田
男	202	231	147	154	109	175	372	138
女	205	224	153	160	113	179	385	146

- (1) どのぶらくの人口が、一ばん多いですか。
- (2) 人口の多いぶらくから、じゅんにばんごうをつけなさい。

みのるくんは、村ぜんたいの男の人数、女の人数を、つぎのように、四つずつにくぎって計算しました。私たちも計算しましょう。

男		女	
202	109	205	113
231	175	224	179
147	372	153	385
<u>+154</u>	<u>+138</u>	<u>+160</u>	<u>+146</u>

みのるくんは、この計算の答を、それぞれよせて、男の人数、女の人数をだそうとしましたが、答が千より多くなることがわかりました。

九百九十九のつぎは千で、千から上は、千一、千二、千三とがぞえて、千九百九十九のつぎは、二千となる。千が二つで二千、三つで三千、十で一万となる。

男	女	みのるくんは、今までならったように、一の位からよせて、男は1528人、女は1565人と計算しました。
734	742	
<u>+794</u>	<u>+823</u>	
1528	1565	

このしかたを、おとうさんに話しました。

おとうさんは、「そうだよ。千より大きい数のよせざんやひきざんも、千までのときと同じようにすればよいのだ。」といわれました。

(3) 村ぜんたいの人口は、どれだけでしょう。

1528
<u>+1565</u>

みのるくんは、右のように計算しましたが、たしかめるために、ぶらくごとの人口をよせてみました。

私たちも、計算してみましょう。

(4) つぎの数をよみなさい。

2356 9000 8020 5104 7003

人口のかわりかた

みのるくんは、横山村の昭和25年の人口は、3100人ぐらいとわかりましたが、この村の人口がどんなにかわってきたかを、しらべてみたくなりました。

先生に話すと、先生は、つぎのような表を見

せてくださいました。

横山村の人口（いま年 10 月 1 日）

昭和 16 年	2585(人)	昭和 21 年	3096(人)
" 17 "	2837	" 22 "	3028
" 18 "	2933	" 23 "	2992
" 19 "	3050	" 24 "	3032
" 20 "	3148	" 25 "	3093

(1) 年々の人口をよみなさい。それぞれ、およそ何千何百人といえましょう。

● 大きい数では、一のくらいまでせいかくにかぞえなければならぬこともあります。だいたいの数をしれば、まにあうばあいもあります。

(1)のように、何千何百まであらわすには、つぎの十のくらいが5より大きいときには、百のくらいを1大きくします。4より小さいときには、きりすてます。

(2) 一年一年に、人口は何人ずつふえたり、へったりしましたか。表にまとめて書きなさい。

みのるくんは、ふえた人口を、つぎのようなグラフに書きました。

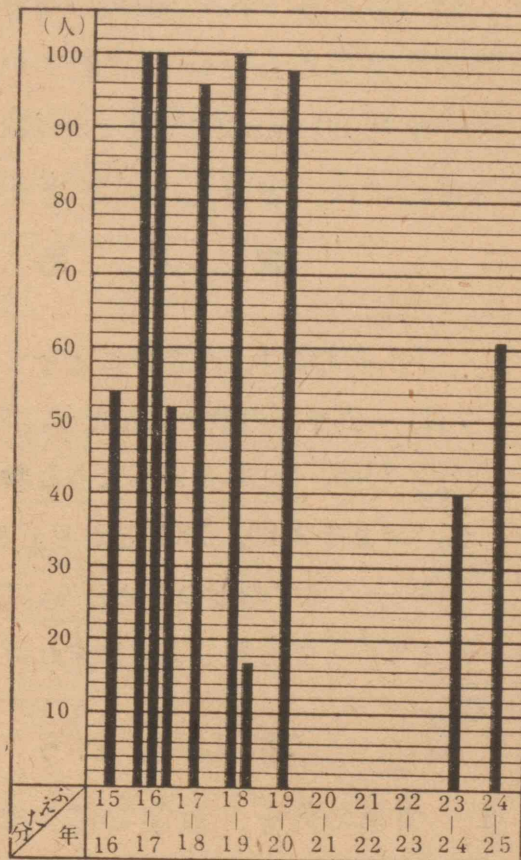
● グラフの中の16, 17は16年10月1日から17年9月30日まで、といういみです。

みのるくんは、表やグラフを見て、人口のか

わりかたのひ
どいのを、ふ
しぎに思って
いますと、お
とうさんがき
て、つぎの話
をしてくださ
いました。

昭和 17 年
の春、この村
に工場ができ
て、よその地
方から工いん
がたくさんき
た。

また、昭和 18 年の春ごろから 20 年の春ごろ
までは、この村へたくさんそかいしてきたが、
20 年の秋ごろからは、だんだんとかいへひきあ
げていく人が多くなった。



(3) ② おとうさんの話は、(2)で作った表や、上のグラフにあらわれていますか。

③ 昭和20—21, 21—22, 22—23年にへったのは、どうしてだと考えますか。

ま と め

この单元では、つぎのことをまなびました。

(1) 一万までの数をよんだり、書いたりする。

(2) 2336, 5893 というような数を、それぞれ、およそ2300, 5900とかぞえる。

(3) 一万までの数のよせざん、ひきざんは、千までのときと同じようにすればよい。

れんしゅう

(1) つぎの数を、数字で書きなさい。

二千五百十六, 八千四百, 三千七十, 六千八

(2) つぎの数をよみなさい。

1028 2900 3715 4905 7004

(3) つぎの数は、およそ何千何百といえましょう。

2513 3625 4897 8778 5964

(4) つぎを、()の中のたんいになおしなさい。

38円(銭) 62円50銭(銭) 40円5銭(銭)

2164銭(円と銭) 5006銭(円と銭) 8270銭(円と銭)

15 m (cm) 21 m 15 cm (cm) 3048 cm (mとcm)

3時間10分(分) 7時間(分) 95分(時間と分)

(5) つぎを、よせざんでなさい。

<u>2627</u>	<u>2734</u>	<u>5631</u>	<u>1362</u>
859	958	873	697

<u>6000</u>	<u>2800</u>	<u>4605</u>	<u>5050</u>
3000	1460	2017	1080

<u>6318</u>	<u>4248</u>	<u>6000</u>	<u>4334</u>
2839	3869	2763	1335

(6) (5)を、ひきざんでなさい、

(7) ひで子さんの町の人口は、今は5924人ですが、五年前は5578人でした。何人ふえたでしょう。

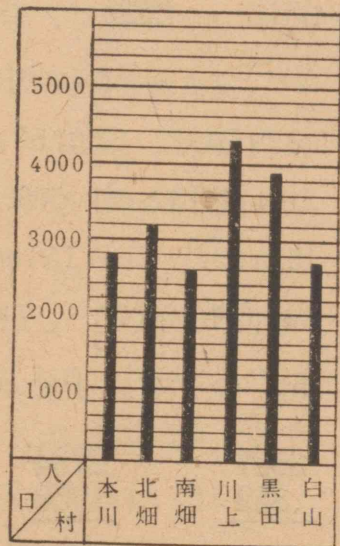
(8) ひで子さんの町では、こんど、となり村をあわせることになりました。となり村の人口

は 1283 人です。

ひで子さんの町の人口は、何人になりますか。およそ、何千何百人になるといえばよいでしょう。

(9) 右のグラフでしめされた村村の人口は、どれだけですか。

いちばん多い村といちばんすくない村では、何人ぐらいちがいますか。



☆ つぎをよせざんでなさい。また、ひきざんでなさい。

80 200 860 6300 5700
31 140 370 3400 3445

92 700 404 4000 3426
48 23 37 345 686

73 614 725 7013 4321
59 388 496 1368 2689

テスト (8)

(1) つぎの数を、かんじて書きなさい。また、それぞれの数に 1098 をよせなさい。

4000 2057 6008 3904 4750

(2) つぎを、よせざんでなさい。また、ひきざんでなさい。

5000 4600 5400 7350 3020
3100 3900 2720 1680 1604

7003 6185 8000 5634 4819
2098 1673 1006 2166 1635

(3) 右の表は、横山村のある郡の町や村の人口です。

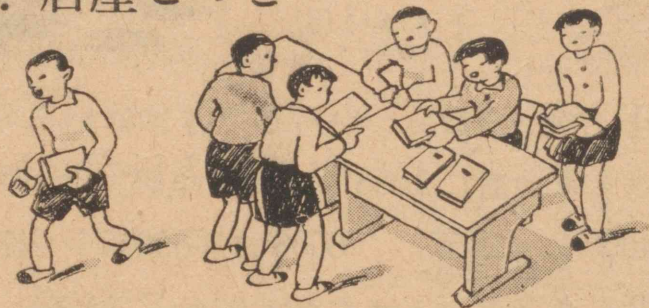
(a) 横山村は、田中町より何人すくないでしょう。

(b) 山中村と和田村は、何人ちがいますか。

(c) それぞれ、およそ何千何百人ですか。この数を使って、ぼうグラフに書きなさい。

なまえ	人口(人)
田中町	6181
横山村	3093
広川村	1390
石上村	2127
山中村	3865
花木村	2058
和田村	1706

9. 店屋ごっこ



この单元では、店屋ごっこをしながら、よせさんには、どんなばあいがあるか。

ひきさんには、どんなばあいがあるか、けんきゅうしましょう。

お店屋さん

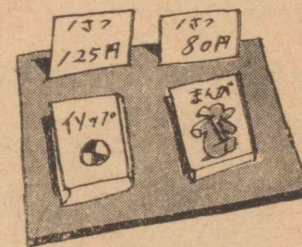
春子さんたちの組では、48人で店屋ごっこをしています。

(1) 店屋になる人と、買いに行く人とはんぶんずつにわかれしました。それぞれ何人ですか。

(2) 店は、六つ作ることにしました。一つの店は、何人ずつになりますか。

店屋になる人たちは、しな物を用意するのに、いそがしそうです。買いに行く人たちは、紙でお金を作っています。

春子さんたちは、本屋になりました。店には、どうわの本が10さつ、まंगाの本が6さつならべてあります。



(3) どうわとまंगाの本は、あわせて何さつですか。

(4) どちらが何さつ多いでしょう。

(5) あきらくんは、どうわとまंगाの本を1さつずつ買いました。何円はらったでしょう。

(6) どうわの本が、また2さつ売れました。どうわの本は、何さつのこっていますか。

(7) どうわの本が7さつになりました。新しく5さつ出して、ならべました。何さつになりましたか。

(8) すみ子さんは、まंगाの本を2さつ買い

ました。いくらはらったでしょう。

(9) まんがの本が3さつになりました。10さつにするのには、もう何さつふやせばよいでしょう。

(10) どうわの本は、15さつならべましたが、店をしまうとき、まだ6さつのこっていました。

どうわの本は、何さつ売れましたか。

(11) どうわの本が9さつ、まんがの本が8さつ売れました。お金は、みんなで何円あればよいでしょう。

(12) (3)から(10)までの中で、よせざんでする問題はどれで、ひきざんでする問題はどれですか。

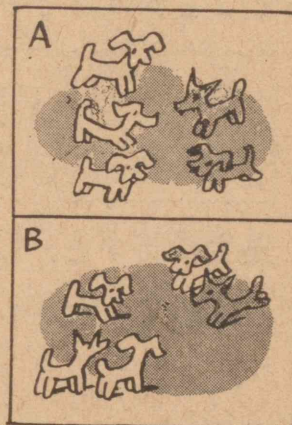
つぎをよせざんで、また、ひきざんでなさい。

<u>930</u>	<u>605</u>	<u>4070</u>	<u>6100</u>	<u>8000</u>
<u>780</u>	<u>419</u>	<u>2080</u>	<u>3050</u>	<u>1234</u>
<u>894</u>	<u>753</u>	<u>5160</u>	<u>3461</u>	<u>7567</u>
<u>206</u>	<u>548</u>	<u>3162</u>	<u>2573</u>	<u>1876</u>

よせざんでするばあい

春子さんたちは、どんなばあいによせざんでするかについて、けんきゅうしようと思いました。

先生は、つぎの(A)(B)の問題をだしてくださいました。



(A) 白犬が3びき、黒犬が2ひきいます。

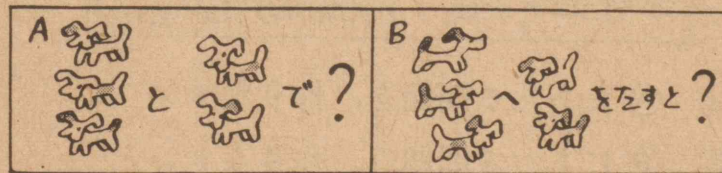
あわせて何びきですか。

(B) 犬が3びきいました。

むこうから2ひき走ってきました。

何びきになりましたか。

先生は、(A)(B)をえに書いてみると、つぎのようになるといって、下のえをお書きになりました。



春子さんたちは、107 ページの (3) (5) は ㉠ にあたり、(7) は、㉡ にあたることがわかりました。

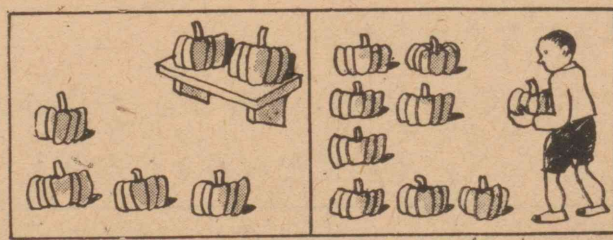
春子さんたちは、みんなでいろいろけんきゅうして、よせさんには、つぎの二つのばあいがあることがはっきりしました。

㉠ いっしょにあるものをあわせる。

㉡ あとから、つけくわえる。

先生に話すと、「よく、考えましたね。」といって、はめてくださいました。

(1) 下のえを見て、よせさんの問題を作りなさい。



(2) ㉠ にあたる問題を、作りなさい。

(3) ㉡ にあたる問題を、作りなさい。

ひきざんでするばあい

107, 108 ページにある、ひきざんでする問題をとりだしてみると、つぎの四つです。

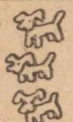




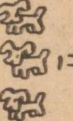
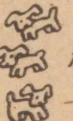
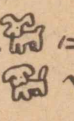

㉠ どうわの本が10さつ、まんがの本が6さつあります。ちがいは、何さつでしょう。

㉡ どうわの本が3さつ売れました。何さつのこっていますか。

㉢ まんがの本を10さつにするには、もう何さつふやせばよいでしょう。

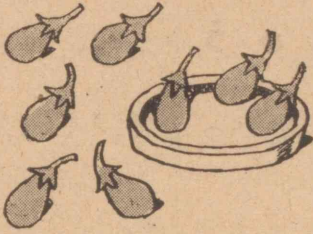
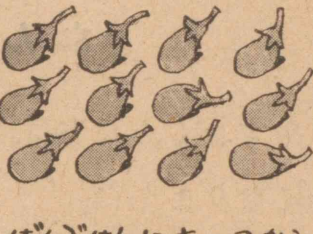
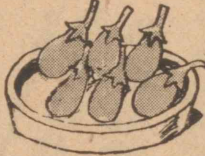


㉣ どうわの本は、15さつならべました。店をしまうとき、まだ4さつのこっていました。何さつ売れましたか。

春子さんたちは、わかりやすくするために、よせさんのときと同じように、つぎのようなえを書いて、先生に見せました。

<p>A  と  のちがいは？</p>	<p>B  から  とると？</p>
<p>C  を  にするには？</p>	<p>D  が  になると？  へったのは？</p>

先生は、それをごらんになって、「みなさんよく考えましたね。これをもとにして、ひきざんでするばあいをまとめてみましょう。」
 といって、こくばんにつぎのようにお書きになりました。

- ④ 両方の数のちがいはいくつか。
- ⑤ 一方の数から、もう一方の数をとったらのこりはいくつか。
- ⑥ すくない方の数を、多い方の数にするには、もういくついるか。
- ⑦ 多い方の数が、すくない方の数になったとき、へったのはいくつか。

	 <p>ぼんごぼんに七つつかう</p>
 <p>畑からとって / 0 にしたい</p>	 <p>ちべたら  になった。</p>

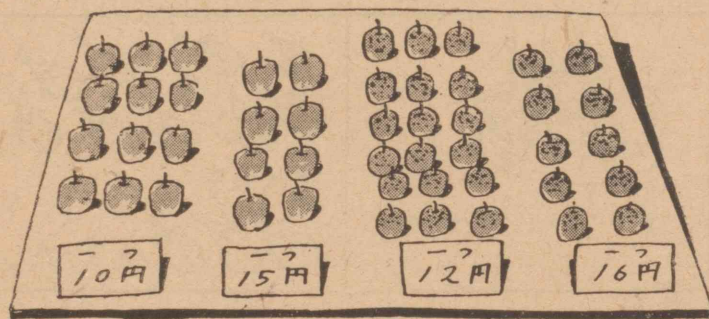
- (1) 上のえを見て、ひきざんの問題を作りなさい。
- (2) ④ にあたる問題を作りなさい。
- (3) ⑤ ⑥ ⑦ にあたる問題を、それぞれ一つずつ作りましょう。

ま と め

この単元では、つぎのことをまなびました。
 (1) よせざんでする、ふたとおりのばあい。
 (2) ひきざんでする、四とおりのばあい。

れんしゅう

やすおくんたちは、店屋ごっこで、くだもの屋になりました。



下の問題は、それぞれよせざん、ひきざんのどのばあいにあたるか考えなさい。

- (1) りんごは、みんなでいくつならべてあるでしょう。
- (2) なしは、あわせていくつですか。
- (3) 10円のりんごが三つ売れました。いくつのこっていますか。
- (4) なしは、どちらがいくつおおいでしょう。
- (5) 12円のなしが五つ売れました。いくつの

こっていますか。

(6) 15円のりんごを、しまってたはこがら、五つ出してならべました。いくつになりましたか。

(7) 16円のなしを15ならべたいと思います。いくつふやせばよいでしょう。

(8) 店をしまうとき、しらべてみると、12円のなしは、八つのこっていました。

いくつ売れたのでしょうか。

(9) 10円のりんごは、12ならべましたが、三つのこり、15円のりんごは、18ならべておいたのが四つのこっていました。

それぞれ、いくつ売れたでしょう。

(10) のこりのりんごは、いくつちがいますか。



テスト (9)



春子さんの家は、ぶんぼうぐ屋です。

きのうときょうのえんぴつの売り上げは、つき

のようでした。

(1) きのは、売りはじめに、えんぴつがは
この中に6ダース、外に8本ありました。

みんなで、何本ありましたか。

(2) はこの中の方が、外の方より何本多かっ
たでしょう。

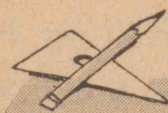
(3) きのは、みんなで67本売れました。
なん本、売れのこりましたか。

(4) けさ、えんぴつを144本しいれてきまし
た。きのはののこりとあわせて、何本になりま
したか。

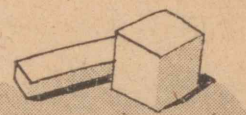
(5) まもなく、200本ほしいというちゅうも
んがありました。何本たりなかったでしょう。

(6) きょうは、みんなで383本店に出しまし
たが、売れのこったのをかぞえてみると、135
本でした。何本売れたのでしょうか。

☆ (7) 上の問題は、それぞれ、よせざんひきざんのどのばあ
いにあたりますか。



これまでのれんしゅう



(1) つぎのよせざんをなさい。

$\begin{array}{r} 56 \\ 67 \end{array}$	$\begin{array}{r} 908 \\ 796 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3008 \\ 4893 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2563 \\ 4437 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4904 \\ 2098 \end{array}$
---	---	---	---	---

$\begin{array}{r} 72 \\ 69 \\ 34 \end{array}$	$\begin{array}{r} 125 \\ 86 \\ 807 \end{array}$	$\begin{array}{r} 406 \\ 2590 \\ 6665 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4618 \\ 1563 \\ 2057 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1605 \\ 2787 \\ 3437 \end{array}$
---	---	--	---	---

(2) つぎのひきざんをなさい。

$\begin{array}{r} 80 \\ 45 \end{array}$	$\begin{array}{r} 701 \\ 528 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4002 \\ 1094 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8000 \\ 3067 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9005 \\ 5009 \end{array}$
---	---	---	---	---

$\begin{array}{r} 63 \\ 36 \end{array}$	$\begin{array}{r} 864 \\ 575 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5367 \\ 4190 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6432 \\ 5468 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7565 \\ 4896 \end{array}$
---	---	---	---	---

(3) つぎのかけざんをなさい。じゅんじょを
はんたいにして、答をたしかめなさい。

$\begin{array}{r} 87 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 69 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 408 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 253 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 376 \\ 6 \end{array}$
--	--	---	---	---

(4) つぎのわりざんをなさい。

$72 \div 9$	$54 \div 6$	$3\overline{)69}$	$2\overline{)68}$	$5\overline{)65}$
-------------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------

$28 \div 7$	$48 \div 8$	$8\overline{)96}$	$4\overline{)60}$	$6\overline{)84}$
-------------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------

(5) あきらくんは、1さつ7円50銭のノート
を3さつと、1本4円75銭のえんぴつを6本買
いました。いくらを払えばよいでしょう。

(6) あきらくんは、十円さつを6まい出して
はらいました。おつりはいくらきたでしょう。

(7) ひで子さんは、7円50銭のノートを2さ
つと、30円のふでいれを買いました。

いくらを払えばよいでしょう。

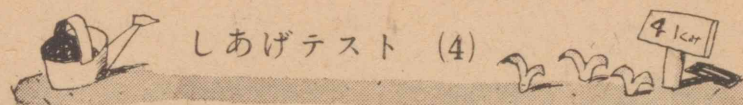
(8) ふたりのうち、だれが、どれだけ多くは
らいましたか。

(9) あきらくんのせいの高
さは1m28cmで、おとうさ
んは1m65cmです。おとう
さんの高さになるには、どれ
だけのびればよいでしょう。



(10) 算数の本のちゅうもん
が、きのう1058さつ、きょう2365さつありま
した。あわせて、何さつですか。

☆ (11) (5)~(10)は、よせざんひきざんのどのばあいですか。



しあげテスト (4)

(1) つぎの数を、かんじて書きなさい。

1825 2046 4008 7000 5030

(2) しるしに気をつけて、あんざんでなさい。

$9 \times 3 + 8$ $7 \times 6 - 5$ $40 \div 2 + 9$ $36 \div 3 - 7$

$\begin{array}{r} 53 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 32 \\ + 45 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 61 \\ + 39 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 87 \\ - 24 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 100 \\ - 35 \\ \hline \end{array}$

$\begin{array}{r} 90 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 82 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 14 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$ $7 \overline{)77}$ $3 \overline{)51}$

(3) つぎを、よせざんでなさい。

$\begin{array}{r} 52 \\ 39 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 103 \\ 17 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 3000 \\ 1500 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 6240 \\ 2960 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 4509 \\ 1690 \\ \hline \end{array}$

$\begin{array}{r} 71 \\ 46 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 214 \\ 86 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 5010 \\ 2600 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 5005 \\ 2006 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{r} 3345 \\ 1467 \\ \hline \end{array}$

(4) (3)を、ひきざんでなさい。

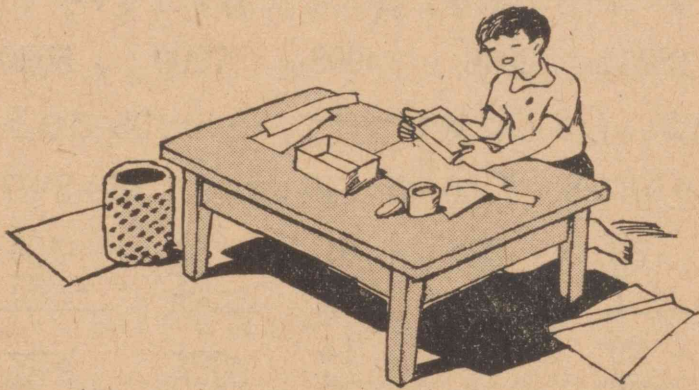
(5) 春子さんの店の3日間
の売り上げは、右の表のよう
でした。合計いくらでしたか。

おととい	1036円
きのう	1218円
きょう	985円

およそ、何千何百円だったでしょう。

きょうは、きのうより何円へりましたか。

10. せいりばこ

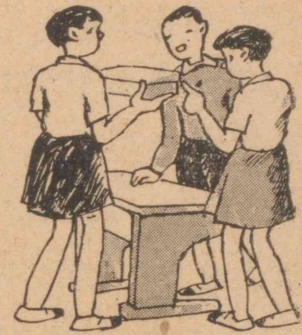


この單元では、はがきなどをせいりする
ために、はこを作ることから、ミリメー
トルを使って、長さをくわしくはかることや、
はこをひらいた図についてまなびましょう。

花子さんの作ったはこ

二学期がはじまったとき、みんなは、なつ休
みにした、いろいろなけんきゅうや、作ひんを
もってきました。

花子さんは、ちよ紙で
きれいにはった、はこを
もってきて、「これ、おと
もだちからもらったしょ
ちゅうみまいのはがきを
入れておくのに、べんり
と、作ったのよ。」といました。



ふみ子さんは、自分も、花子さんのようなは
がき入れを作って、はがきをせいりして、きね
んにのこそうと思いました。

- (1) はがきのたて、よこの長さは、それぞれ
どれだけですか。
- (2) はがきの形は、なんといいますか。

あきばこ

はがき入れを作ろうと思ったふみ子さんは、
おかあさんにおねがいで、いろいろの大きさ
の紙ばこを出してもらいました。

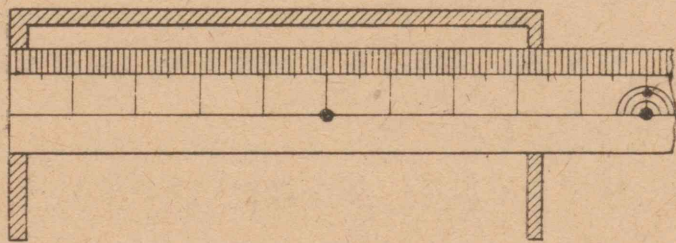
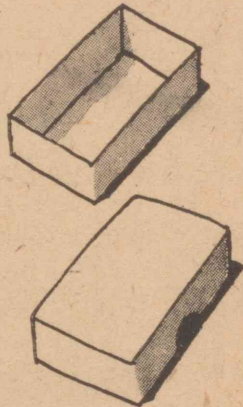
ふみ子さんは、紙ばこのふたやみの長さにつ

いて、けんきゅうしました。

ふみ子さんが、はじめには
かったはこのみは、よこが8
cm, たてが11 cm, 高さが5
cm ありました。

こんどは、ふたをはかって
みました。

よこの長さは、8 cm と9
cm とのあいだでした。



おかあさんにたずねてみますと、物さしの小
さい目もりは、「1 ミリメートル」ということ。

それで、上の図のふたのよこの長さは、小さ
い目もりで4ばんめのところだから、8センチ
4ミリメートルであることを、おしえてくださ

いました。

こんどは、ふたのたてをはかっ
てみると、右の図のようでした。

何センチ何ミリメートルですか。

ふたの高さは、1センチ5ミリ
メートルで、みの方は、4センチ
メートルでした。



長さをくわしくはかるには、
1 cm を十等分した目もりの
ある物さしを使う。そのひと
めの長さを「1 ミリメートル」
という。

1 ミリメートルを「1 mm」
とも書く。

1 ミリメートルを *mm*
1 ミリということもある。

$$1 \text{ cm} = 10 \text{ mm} \quad 1 \text{ mm} = \frac{1}{10} \text{ cm}$$

二ばんめのはこを
はかってみました。
右の表のようでした。
たて、よこ、高さ

	み	ふ た
た て	24cm	24cm5mm
よ こ	15cm3mm	15cm7mm
高 さ	6cm	1cm8mm

は、それぞれどれだけか、よんでごらん下さい。

(1) はじめにはかったはこのたて、よこ、高さを、上の表のように書きなさい。

(2) はじめのはこのふたとみで、たての長さは、どれだけちがいますか。また、よこの長さのちがいは、どれだけでしょう。

(3) 二ばんめにはかった、はこのふたとみで、たてはどれだけちがいますか。

よこは、どれだけちがいますか。

(4) 高さのちがいは、はじめのはこは、どれだけですか。二ばんめのはこは、どうでしょう。

☆(5) ふたとみで、たてとよこのちがいが、4mmか5mmぐらいなのは、なぜでしょう。

(6) 1mmは、1cmの何分の一ですか。

(7) 3mmは、1cmの何分のいくつですか。

作 り か た

ふみ子さんは、はがき入れを作りにとりかかりました。はがきのたて、よこは、14cmと9cmです。あきばこでしらべた長さをもとにして、つぎのようにしようときめました。

は こ の み

たてとよこが、あまり大きくてはむだだし、はがきと同じ大きさでは、出し入れがむずかしくなるので、みにはがきを入れたとき、まわりが1cmずつあくようにすること。

は こ の ふ た

たてとよこが、みのたて、よこと同じでは、ふたをすることができないし、大きすぎではあわなくなるので、たて、よことも、みの方より4mmずつ長くすること。

高 さ

みは3cm、ふたは1cm5mmにすること。

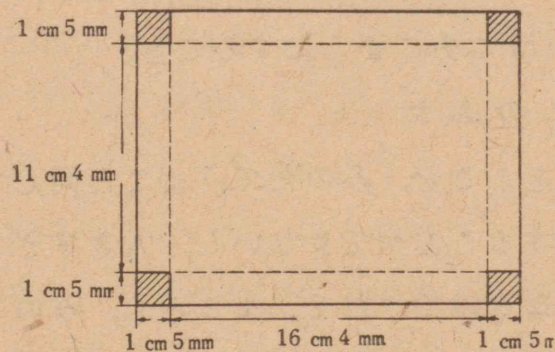
(1) ふみ子さんがきめたはこのみは、たて、

よこの長さが、それぞれどれだけでしょう。

(2) ふたの方は、たて、よこの長さが、それぞれどれだけでですか。

はがき入れのたて、よこ、高さがきまったので、ふみ子さんは、あきばこを一つこわして、ひらいた図をけんきゅうしました。

ふみ子さんが作ろうときめた、はこのふたをひらいた図は、下のようです。



(3) 上のひらいた図で、四つのすみは、どうするのですか。また、どんな形でしょう。

もし、四すみの大きさがちがったら、どうな

るでしょう。

てんせんは、何のしるしでしょう。

(4) ふたを作るには、たて、よこが、それぞれどれだけの長方形のボール紙がいらいますか。

(5) みの方のひらいた図を書きなさい。

(6) みを作るには、たて、よこが、それぞれ何 cm のボール紙がいらいますか。

私たちも、はがき入れを作りましょう。

できあがり

はがき入れのふたとみのひらいた図が、できあがりしました。ふみ子さんは、作るじゅんじょをこまかくきめました。

つぎは、ふみ子さんがきめたじゅんじょです。

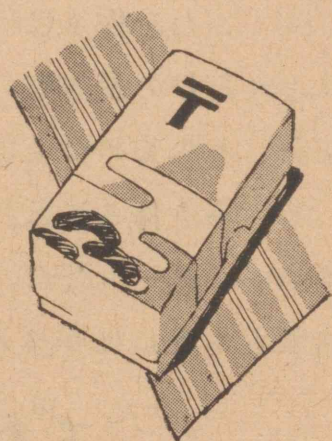
- 1 みから作る。
- 2 いちばんそとがわを切りとる。
- 3 四つのすみを切りとる。
- 4 てんせんのところに、あさい切りこみを入れて、おりまげる。

5 じょうぶなうすい紙で、すみをとめる。

6 ふたは、ちよ紙できれいなもようをはる。

ふみ子さんは、まちが
いやむだのないように、
さきのことを考えながら
作っていました。

できあがったはがき入
れを、おかあさんに見せ
ました。



おかあさんは、もようを見たり、ふたのぐあ
いをみたりして、

「たいそうよくできましたね。」とって、ほ
めてくださいました。

ふみ子さんは、今までたまっていた、はがき
を入れました。せいりができて、大よろこびで
す。

ま と め

この單元では、つぎのことをまなびまし
た。

(1) 1 cm よりみじかい長さは、ミリメー
トルを使って、はかること。

(2) $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$, 1 mm は 1 cm の $\frac{1}{10}$ 。

(3) はことみのひらいた図の書きかた。

れんしゅう

(1) 長さをはかるたんいには、どんなのがあ
りますか。

(2) つぎのものの長さを、はかりなさい。
新しいえんぴつ、この本のたてとよこ。

(3) つぎを、()の中のたんいで書きなさい。

26 mm (cm と mm) 30 mm (cm) 8 cm 2 mm (mm)

243 mm (cm と mm) 12 cm (mm) 10 cm 7 mm (mm)

(4) ひろしくんは、おばさんから手紙をもら
いました。ふうとうのたては 20 cm, よこは

8 cm 4 mm ありました。たては
よこよりどれだけ長いでしょう。

	ふ	た	み
たて	22 cm 4 mm		22 cm
よこ	10 cm 4 mm		10 cm
高さ	1 cm 5 mm		3 cm



(5) ひろしくんは、上の表のような大きさの
手紙入れを作ろうと思います。

㉑ ふたとみのひらいた図を書きなさい。

㉒ ふたとみを作るのに、それぞれどんな大
きさの長方形のボール紙がいるでしょう。

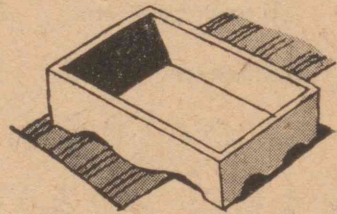
☆㉓ 手紙入れを作るのに、どのくらいの大き
さの長方形のボール紙がいりますか。

(6) つぎの計算をなさい。

$$15\text{ cm }4\text{ mm} + 6\text{ cm }3\text{ mm} \quad 27\text{ cm }5\text{ mm} + 9\text{ cm }8\text{ mm}$$

$$21\text{ cm }7\text{ mm} - 8\text{ cm }2\text{ mm} \quad 30\text{ cm }5\text{ mm} - 7\text{ cm }6\text{ mm}$$

(7) あつさ 6 mm のい
たで作った木のはこがあ
ります。はこのそとがわ
のたて、よこは、それぞ



れ 17 cm 8 mm, 30 cm 4 mm です。

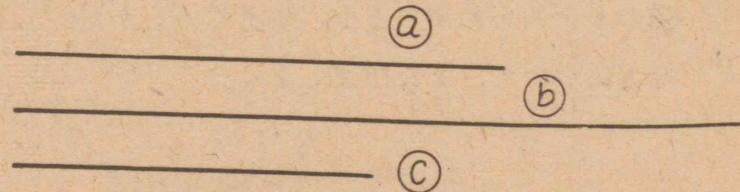
はこの中がわのたて、よこは、それぞれどれ
だけの長さですか。



テスト (10)



(1) つぎの長さを、物さしではかりなさい。
また、3本の長さのちがいを、計算なさい。



(2) つぎの長さのせんをひきなさい。

5 cm 5 mm 24 mm 6 cm 3 mm

(3) 2 mm は、1 cm の何分のいくつですか。

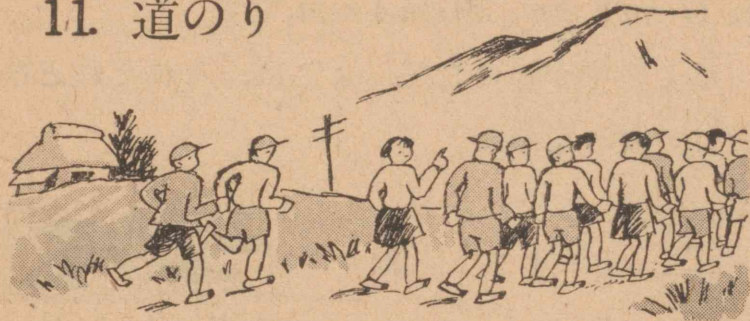
また、1 cm の $\frac{7}{10}$ は、何 mm ですか。

(4) 右の表のような
はこがあります。

ふたとみのひらいた
図を書きなさい。

	ふ	た	み
たて	12 cm 4 mm		12 cm
よこ	12 cm 4 mm		12 cm
高さ		2 cm	5 cm

11. 道のり



この单元では、キロメートルを使って、道のりをあらわすことや、歩そくのしかたなどについて、まなびましょう。

黒木山いき

秋ばれのよいいきこうになりました。

先生は、三時間めがすむと、

「きょうは、午後、黒木山へくりひろいにいきましょう。」といわれました。

みんな、手をたたいて、大よろこびです。

おべんとうがすむと、運動場にあつまりました。みんながあつまると、

先生「これからくりひろいにいいますが、算数の勉強べんきょうもしたいと思います。どんな問題ができますか。」

いろいろな問題がでましたが、きょうは学校から黒山木までの時間 道のり

歩数 について、しらべることにまりました。

先生「黒木山まで、あるいてやく何分かかりますか。」

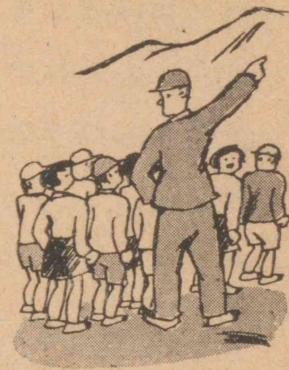
道子「30分ぐらいかかるでしょう。」

先生「そのくらいと思いますが、いきに、とけいではかりましょう。道子さんは、どうして30分ぐらいと考えましたか。」

道子「私の家は、学校と黒木山のまん中へんで、私の家から学校までやく15分ですから。」

先生「道のりはどのくらいですか。」

しげる「2キロぐらいでしょう。にいさんがそういっていました。」



みんなは、しげるくんのいった**2キロ**という
いみが、よくわかりません。

先生は、つぎのように、せつめいしてくださ
いました。

「みなさんは、 $1m$ の長さをしっていますね。
 $1000m$ のことを『**1キロメートル**』というの
です。そうすると、**2キロメートル**は何 m にな
るか、わかりますね。

しげるくんは、キロメートルをキロと、かん
たんにしていったのです。」

$1000m$ を「**1キロメートル**」といい、

「**1km**」とも書く。

$$1\text{ km} = 1000\text{ m}$$

キロメートルをキロということもある。

km

つぎの道のりを、それぞれ()の中のたんい
になおしなさい。

3 km (m)

10 km (m)

1.5 km (m)

4000 m (km)

5800 m (km)

6250 m (km)

先生「それでは、黒木山までは、歩いて何歩ぐ
らいでしょう。」

みんなは、ちょっと、けんとうがつかえません。

先生「何歩ぐらいかは、帰りに、はんにわかれ
てかぞえましょう。」

いよいよ、黒木山へしっぱつです。

学校をでたのは、午後0時40分で、黒木山
についたのは、1時8分でした。

(1) 何分かかりましたか。

午後2時まで、くりひろいをたのしみました。

先生「さあ、帰りましょう。学校までの歩数は、

(い) 黒木山から、一本すぎまで。

(ろ) 一本すぎから、道子さんの家まで。

(は) 道子さんの家から、火の見まで。

(に) 火の見から、学校まで。



の四つにわけて、4人ずつのはんを作って、かぞえてごらん下さい。

どんなにかぞえたら、べんりでしょう。

いろいろ、いけんがでましたが、100歩すすむたびに、ゆびをおるのがべんりだときまりました。

先生は、自分のいちばんしぜんな歩きかたで、歩くようにと、ちゅういなさいました。

しげるくんたちのはんでしらべたのは、下のようでした。

はかったところ	はかった人	歩 数
黒木山 — 一本すぎ	しげる	311歩
一本すぎ — 道子の家	道子	1302歩
道子の家 — 火の見	たけお	1018歩
火の見 — 学 校	のり子	580歩

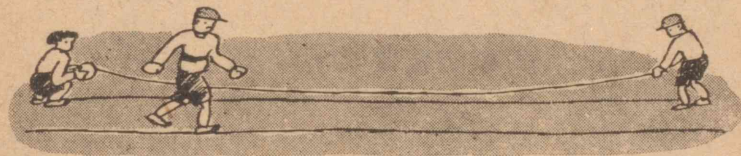
(2) 道子さんの家から黒木山までと、学校までとは、どちらが何歩多かったでしょう。

(3) 黒木山から学校まで、何歩でしたか。

(4) 学校から黒木山まで、やく何千何百歩でしたか。

歩 そ く

しげるくんたちは、運動場にまっすぐなせんをひいて、その上を自分のしぜんな歩きかたで100歩ずつ歩いて、その道のりをはかりました。



しげるくんたちが、100歩ですすんだ道のりは、下の表のとおりです。

	しげる	道子	たけお	のり子
1 かい	61. ^m 10	62. ^m 00	60. ^m 90	61. ^m 10
2 かい	61. 00	61. 90	61. 00	61. 00
3 かい	61. 00	62. 00	61. 00	61. 10

(1) 表の 61.^m 10 は何 *m* 何 *cm* ですか。

(2) 3かいも歩いてはかっています。どうして、何かいもはかったのでしょうか。

(3) しげるくんは 100歩で、やく何 *m* すすみですか。1000歩で、やく何 *m* すすみですか。

(4) 道子さんは 100 歩で、やく何 m すすみ
ますか。1000 歩で、やく何 m すすみ
ますか。

(5) たけおさん、のり子さんは、それぞれ、
100 歩で、やく何 m すすみ
ますか。1000 歩で
やく何 m すすみ
ますか。

黒木山までの道のり

しげるくんたちは、黒木山から学校までのお
よその道のりを、つぎのように計算しました。

しげるの計算 (黒木山から一本すぎまで 311 歩)
300 歩で..... $61 m \times 3 = 183 m$ 183
11 歩をやく 10 歩とみて... $61 cm \times 10 = 610 cm$ $\frac{+ 6}{189}$
= 6.1 m

道子の計算 (一本すぎから道子の家まで 1302 歩)

1000 歩で..... $620 m$ 620
302 歩をやく 300 歩とみて... $62 m \times 3 = 186 m$ $\frac{+ 186}{806}$

たけおの計算 (道子の家から火の見まで 1018 歩)

1000 歩で..... $610 m$ 610
18 歩をやく 20 歩とみて... $61 cm \times 20 = 1220 cm$ $\frac{+ 12}{622}$
= 12.2 m

のり子の計算 (火の見から学校まで 580 歩)

500 歩で..... $61 m \times 5 = 305 m$ 305
80 歩で..... $61 cm \times 80 = 4880 cm$ $\frac{+ 49}{354}$
= 48.8 m

189
806
622
+ 354
1971

左のように、4 人の計算した道
のりをよせて、黒木山から学校ま
では、やく 1970 m としました。

- (1) 1970 m は、何 km ですか。
- (2) 133 ページで、しげるくんのにいさんの
いったやく 2 km と、だいたいあいますか。
- (3) ゆき子さんたちのはんでしらべたのは、
下の表のとおりでした。

	ゆき子	きみ子	ただし	ひろむ
歩そくし たところ	黒木山か ら一本杉 まで	一本杉か ら道子の 家まで	道子の家 から火の 見まで	火の見か ら学校ま で
歩 数	303 歩	1311 歩	1008 歩	579 歩
100 歩の 道のり	62 m	61 m	62 m	61 m

- ㉑ 黒木山から学校まで、何歩でしたか。
- ㉒ しげるくんたちのように計算すると、四
つの間は、それぞれ何 m ずつになりますか。

◎ 黒木山から学校まで、やく何 m になりましたか。また、これは何 km ですか。

(4) ゆき子さんは、家から学校まで 1610 歩で歩きました。道のりは、やく何 km でしょう。

(5) あなたの家から $1 km$ のところを、はかりなさい。 $1 km$ のけんとうをおぼえましょう。

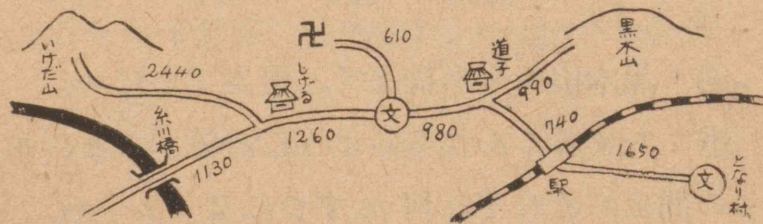
ま と め

この单元では、つぎのことをまなびました。

- (1) 歩そくて、およその道のりをはかること。
- (2) $1 km = 1000 m$
- (3) km を m に、 m を km になおすこと。

れんしゅう

下の図の道のりは、しげるくんたちが、歩そくて計算したものです。(たんに m)



(1) 学校から糸川橋までは、何 m ですか。また、何 km ですか。

(2) しげるくんの学校から、となり村の学校まで何 m ありますか。

(3) しげるくんの家から駅まで何 km ですか。

(4) 黒木山からいけだ山まで、何 km ですか。

道子さんは、東京のおじさんから、日光見物の手紙をもらいました。その中に、つぎのよう

な地図と道じゅんが書いてありました。

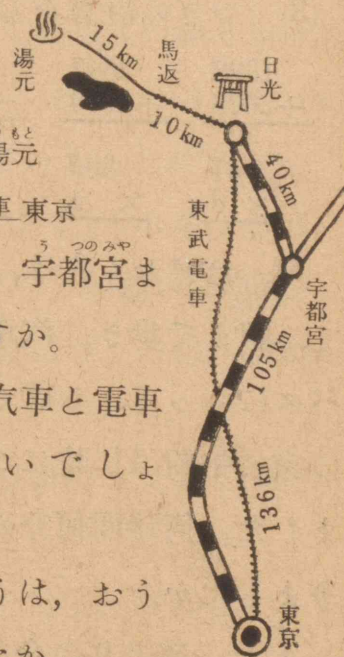
東京 汽車 日光 電車 湯元 うまがえし 馬返 うもと バス 湯元

湯元 うまがえし バス 馬返 電車 日光 東武電車 東京

㉑ 東京から湯元まで、宇都宮まわりでいくと、何 km ですか。

㉒ 東京・日光間は、汽車と電車で、どちらがどれだけ近いでしょう。

㉓ おじさんのりょこうは、おうふくて、やく何 km でしたか。





テスト (11)



- (1) つぎを()の中のたんにいになおしなさい。
 30円50銭(銭) 12l3dl(dl) 8km(m)
 6cm5mm(mm) 2km80m(m) 15cm(mm)

(2) つぎの計算をなさい。

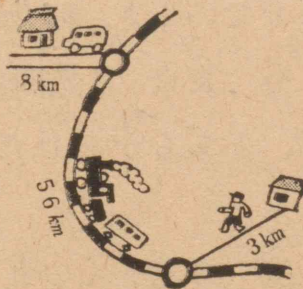
$$4\text{ cm } 7\text{ mm} + 5\text{ cm } 6\text{ mm} \quad 3\text{ m } 45\text{ cm} + 5\text{ m } 70\text{ cm}$$

$$10\text{ cm} - 3\text{ cm } 4\text{ mm} \quad 1620\text{ km} - 835\text{ km}$$

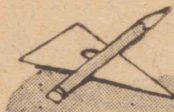
(3) つぎの計算をなさい。

1693 +2628 ----- 47 × 6	3547 +2496 ----- 309 × 4	3000 -1091 ----- 8 × 215	7125 -5634 ----- 5)70	6031 -2089 ----- 3)81
-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

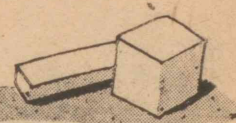
(4) たけおくんは、午前8時15分に家を出て、駅まで歩き、汽車とバスにのって、おばさんの家に午前11時につきました。何時間何分かかりましたか。



また、道のりの合計は、いくらですか。



これまでのれんしゅう



(1) ひろしくんは、おとうさんにたのまれて、はがきを50まい買ってきました。

はがきだいは、いくらでしたか。

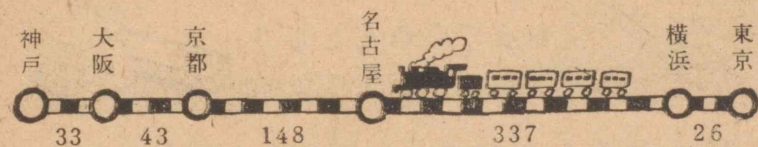
(2) ひろしくんは、はがき50まいのあつさを、はかってみました。7mmありました。はがき200まいのあつさは、どれだけでしょう。

(3) えんぴつの使いはじめは17cm6mmでした。1週間たってはかってみると14cm8mmでした。1週間にどれだけへりましたか。

(4) ひろしくんは、15分で1km歩きます。おばさんの家まで5kmです。午前8時30分に家を出ると、おばさんの家につくのは、何時何分ごろですか。

(5) ひろしくんの家から学校までは1180m、駅までは2030mあります。

ひろしくんの家から駅までは、学校までより何m遠いでしょう。



(6) 東海道せんのおもな駅の間の道のりは、
上のとおりです。(たんに km)

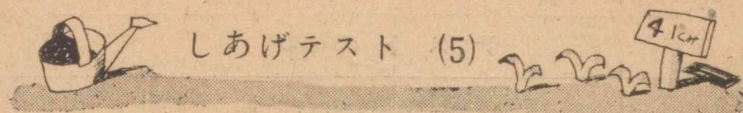
㉑ 東京・神戸間は、何キロですか。

㉒ 東京・名古屋間と、名古屋・神戸間は、
どちらがどれだけ遠いでしょう。

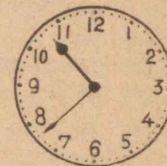
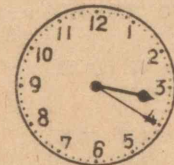
㉓ そのほか、どんな問題ができるでしょう。

(7) しるしに気をつけて、つぎをあんざんで
なさい。何かいもれんしゅうして、かかった時
間とまちがった数とを、表に書きなさい。

8×6	$28 + 23$	$100 - 18$	$90 \div 6$
$93 \div 3$	$52 \div 2$	$36 \div 4$	$30 + 74$
$5 \times 8 + 1$	$9 \times 3 + 4$	12×5	$16 + 58$
$0 \times 6 + 4$	$7 \times 2 - 6$	$7 \times 6 + 2$	$18 \times 2 - 4$
$1 \times 8 - 5$	$36 \div 3 + 7$	$6 \div 6 + 5$	$30 \div 2 + 2$
$16 \div 4 - 2$	23×3	30×5	21×7
200×7	105×4	310×2	420×6



(1) 何時何分で
しょう。



(2) つぎの計算をなさい。

$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 104 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 \\ \times 150 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \times 232 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \overline{)48} \\ 6 \overline{)66} \\ 3 \overline{)90} \\ 2 \overline{)72} \\ 7 \overline{)91} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ 8 \\ 2 \\ +7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 16 \\ 5 \\ 69 \\ +43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 308 \\ 115 \\ +286 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 213 \\ 48 \\ 895 \\ +76 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1500 \\ 2165 \\ +4497 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 93 \\ -37 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 105 \\ -28 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 452 \\ -176 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6034 \\ -2959 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7611 \\ -3564 \\ \hline \end{array}$$

(3) ふみ子さんの店では、なしを1はこ 800
円で買いました。112 こはっていました。

そのうち、8 こはくさっていました。のこり
を一つ9円ずつで売りました。

いくらのもうけがありましたか。

テストの答

- P. 10 (1) 36 63 48 15 4 28 30
テスト (1) 400 810 180 40 280 420
240
(2) 15 20 35 31 6 47 50 38
(3) 36 m (4) 29 時間
- P. 19 (1) 410 540 768 437 696
テスト (2) 462 701 572 802 703
308 617 262 226 298
(3) 3時50分から5時15分まで
(4) 1時間25分
- P. 23 (1) 85 103 130 103 131 742
しあげ (1) 400 738 803 932
(2) 29 25 22 67 55 530 34
180 587 336
(3) $7 \times 3 = 21$ $8 \times 4 = 32$
 $8 \times 6 = 48$ $9 \times 5 = 45$
 $8 \times 8 = 64$
(4) 3時30分 3時5分
- P. 33 (1) 15分 (2) 3時26分7時5分
テスト (3) 10時52分 (3) 自分でかけ
(4) ㉔ 4時間25分 ㉕ 1時間42分
㉖ 3時間37分
(5) ㉗ 午前8時17分
㉘ 午後5時41分
- P. 50 (1) 4 0 8 0 5 0 3 0 6 0
テスト (2) 88 84 217 92 348 654
(4) 735 1000 954 658 675
544 760 762 957
(3)
- | ほん | 人数(人) | お金(円) |
|----|-------|-------|
| 一 | 2 | 28 |
| 二 | 3 | 42 |
| 三 | 4 | 56 |
| 四 | 0 | 0 |
| 五 | 1 | 14 |
| 六 | 2 | 28 |
| 七 | 0 | 0 |
| 八 | 4 | 56 |
| 計 | 16 | 224 |

- P. 62 (1) ㉔
テスト (5)
- | しな物 | 一つのねだん | かず | うりあげ高 |
|------|--------|----|--------|
| ノート | 12.00 | 8 | 96.00 |
| ノート | 7.50 | 6 | 45.00 |
| けしごむ | 3.50 | 5 | 17.50 |
| クレヨン | 35.00 | 7 | 245.00 |
| えんぴつ | 6.00 | 18 | 108.00 |
| えんぴつ | 4.15 | 9 | 37.35 |
| のり | 14.00 | 4 | 56.00 |
| インキ | 55.00 | 2 | 110.00 |
| 物さし | 8.70 | 3 | 26.10 |
| そのほか | | | 186.50 |
| 計 | | | 927.45 |
- ㉕ 927円45銭
(2) 213 251 828 594 699
- P. 66 (1) 576 / 774 632 721 620
しあげ (2) 128 272 231 420 258
(2)
- | 月日 | ことがら | はいった金 | だした金 | のこった金 |
|-----|--------|--------|-------|--------|
| 5 1 | 四月のこり | 14.50 | | 14.50 |
| 2 | 父から | 150.00 | | 164.50 |
| 3 | 本だい | | 92.60 | 71.90 |
| 5 | えんぴつ3本 | | 12.45 | 59.45 |
| 7 | 三角じようぎ | | 23.80 | 35.65 |
| 13 | 電車ちん | | 10.00 | 25.65 |
| 20 | 母から | 100.00 | | 125.65 |
| 21 | ノート2さつ | | 15.00 | 110.65 |
| 23 | ざっし | | 25.00 | 85.65 |
| 26 | はがき5まい | | 10.00 | 75.65 |
| 29 | ボール | | 60.00 | 15.65 |
- (1) $84 + 4 = 4$ 84
(2) $98 + 3 = 23$ (31)
 $75 + 5 = 13$ (15)
(3) 6 22 6 33 15
11 13 19 12 14
(4) 15人 15本
(5) 25
- P. 91 (1) $\frac{1}{3}$ $\frac{2}{5}$ $\frac{2}{6}$
テスト (2) $\frac{2}{5}$ が大, $\frac{1}{3}$ と $\frac{2}{6}$ は同じで $\frac{2}{5}$ より小
(3) 先生に見てもらおうこと。いろいろのしかたを考えましょう。
(4) 1cm と 3cm にわけるところでせんをひく。

- P. 94 (1) 1が大 $\frac{2}{3}$ が大
しあげ (2) 先生に見てもらおうこと。いろいろのしかたを考えましょう。
(3) 13 (4) 65人
(5) 6 8 16 18 13 9 8 28
11 12
- P. 105 (1) 四千 二千五十七 六千八
テスト (8) 三千九百四 四千七百五十
5098 3155 7106 5002 5848
(2) 8100 8500 8120 9030 4624
9101 7798 9006 7800 6454
1900 700 2680 5670 1416
4905 4512 6994 3468 3184
(3) ㉔ 3088人 ㉕ 2159人
- | 町村の名 | およその人数 |
|------|--------|
| 田中 | 6200 |
| 横山 | 3100 |
| 広川 | 1400 |
| 石上 | 2100 |
| 山中 | 3900 |
| 花木 | 2100 |
| 和田 | 1700 |
- (9)
- | 人口(町村) | 田中 | 横山 | 広川 | 石上 | 山中 | 花木 | 和田 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 6000 | | | | | | | |
| 5000 | | | | | | | |
| 4000 | | | | | | | |
| 3000 | | | | | | | |
| 2000 | | | | | | | |
| 1000 | | | | | | | |
- (1) 80本 (2) 64本 (3) 13本
(4) 157本 (5) 43本 (6) 248本
☆ (7)
(1)→(+)のA (2)→(-)のA
(3)→(-)のB (4)→(+)のB
(5)→(-)のC (6)→(-)のD

- P. 119 (1) 千八百二十五 二千四十六
しあげ (2) 四千八 七千 五千三十
(4) (2) 35 37 29 5
60 77 100 63 65
540 328 42 11 17
(3) 91 120 4500 9200 6199
117 300 7610 7011 4812
(4) 13 86 1500 3280 2819
25 123 2410 2999 1878
(5) 3239円 3200円 233円
- P. 131 (1) ㉔ 6cm 5mm ㉕ 9cm 7mm
テスト (10) ㉖ 4cm 8mm ちがい
㉗ と ㉕ 3cm 2mm
㉘ と ㉖ 1cm 7mm
㉙ と ㉘ 4cm 9mm
(2) 自分でひくこと
(3) $\frac{3}{10}$ 7mm
(4)
-
- (1) 3050 銭 123 dl 8000 m
テスト (11) (2) 10cm 3mm 9m 15cm
6cm 6mm 735 km
(3) 4321 6043 1909 1491 3942
282 1236 1720 14 27
(4) 2時間45分 67 km
- P. 145 (1) 3時20分 10時38分
しあげ (2) 63 54 832 600 1160 6
(5) 11 30 36 13 21 133 709
1232 8162 56 77 276 3075
4047
(3) 136円

四年生の算数 (上) さくいん

数	●整数	10000 までの数を書いたりよんだりする.....40, 95-105
		概数をとって, 数をよんだり, 書いたりする.....100, 103-105, 136-140
	加法	二・三位数+二・三位数.....3, 5, 7, 14, 16, 19, 21-23, 49
		四位数+四位数.....95-105, 108, 117, 119
		和の意味をまとめる.....109-110, 114-116, 118
		3数以上の和は順序をかえてもよい。答のたしかめに利用する.....56-58, 62
	減法	二・三位数-二・三位数.....3, 8, 14, 17, 19, 21-23, 49
		四位数-四位数.....95-105, 108, 117, 119
		差の意味をまとめる.....111-116, 118
	乗法	二・三位数×基数.....3, 6, 8, 35-44, 50, 53, 66, 93, 145
	基数×二・三位数.....44-45, 50, 53-66, 145	
	答のたしかめ.....36-38, 44-46, 48, 50, 64	
除法	基・二位数÷基数.....67-82, 93, 94, 117	
	等分除・包含除.....70, 71	
	答のたしかめ.....78-79, 80, 81, 82	
●単位分数83-91, 92, 94	
●小数18, 137	
量	1分単位で時間・時刻をあらわす.....15, 19, 27-29, 31-33, 142, 145	
	km 単位で距離をはかる.....133-134, 140-142, 144	
	mm 単位で長さをはかる.....121-131, 143	
	1 km = 1000 m.....134	
	$1\text{ cm} = 10\text{ mm}$, $1\text{ mm} = \frac{1}{10}\text{ cm}$123	
形	正方形.....87, 88, 91	
	長方形.....87, 88, 90, 91	
その他	じこく表.....27	
	うりあげ帳.....52-56	
	こづかい帳.....65-66	
	ほそく.....137-140	
	グラフ.....101, 104	
	整理するための色々の表.....42, 47, 56, 59, 61, 65	

		か け る 数									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か け ら れ る 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	0	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	0	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	0	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	0	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	0	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	0	9	18	27	36	45	54	63	72	81

四年生の算数 上 Approved by Ministry of Education (Date 1950)

編者 東京都大田区雪ヶ谷町 清明学園初等学校内 財団法人 日本新教育研究会
 担当執筆者 成城学園教諭 堀川 掬 理事長 濱野重郎
 成城学園教諭 徳永 吉晴 編集長 照井猪一郎
 慶徳義塾教諭 林 佐一 成城学園教諭 原川 武雄
 学習院教諭 安田 良一
 表紙とさしえ 大槻 定雄 木俣 武

昭和 25 年 月 日 印刷 ¥
 昭和 25 年 月 日 発行

著者 東京都大田区雪ヶ谷町 清明学園初等学校内 財団法人 日本新教育研究会 会長 高橋誠一郎
 発行者 東京都港区芝三田豊岡町8番地 学校図書株式会社 代表者 川口芳太郎
 印刷者 東京都港区芝三田豊岡町8番地 図書印刷株式会社 代表者 川口芳太郎
 発行所 東京都港区芝三田豊岡町8番地 学校図書株式会社

本書の指導書・ワークブック・註釋書並びにこれに類する一切のものの無断發行を禁する。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2
3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4
5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6
7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

広島大学図書

0130449820



教
3
01

おことわり

本書の用紙は来年度使用教科書からより良質のもの（新教科書用紙）を使用することになつて居ります。